

財 務 諸 表 等

令和元年度

(第 9 期 事 業 年 度)

自 平成31年4月 1 日

至 令和2年3月31日

地方独立行政法人宮城県立病院機構

財 務 諸 表

貸借対照表
(令和2年3月31日現在)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
土地	1,303,590,000	
建物	9,567,452,220	
建物減価償却累計額	3,777,133,721	5,790,318,499
構築物	202,110,727	
構築物減価償却累計額	100,069,376	102,041,351
器械備品	6,012,909,111	
器械備品減価償却累計額	4,403,987,603	1,608,921,508
車両	11,972,714	
車両減価償却累計額	4,972,359	7,000,355
その他有形固定資産		2,450,000
有形固定資産合計		8,814,321,713
2 無形固定資産		
ソフトウェア	222,733,573	
電話加入権	578,000	
無形固定資産合計		223,311,573
3 投資その他の資産		
長期前払消費税	271,535,962	
投資その他資産	111,930	
投資その他の資産合計		271,647,892
固定資産合計		9,309,281,178
II 流 動 資 産		
現金及び預金	1,323,785,718	
有価証券	0	
医業未収金	1,957,248,875	
貸倒引当金	△ 20,906,356	1,936,342,519
未収金	31,279,109	
貸倒引当金	△ 2,182,950	29,096,159
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	68,570,056	
診療材料	47,804,962	
その他貯蔵品	2,928,989	119,304,007
前払金		501,548
その他流動資産		128,669,951
流動資産合計		3,537,699,902
資産合計		12,846,981,080

貸借対照表
(令和2年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	
負 債 の 部		
I 固 定 負 債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	83,923,989	
資産見返寄附金	21,512,004	
資産見返物品受贈額	6,122,451	111,558,444
長期借入金		3,740,434,728
移行前地方債償還債務		1,766,705,644
引当金		
退職給付引当金	4,832,601,883	4,832,601,883
長期リース債務		140,624,952
固定負債合計		10,591,925,651
II 流 動 負 債		
寄附金債務		11,721,200
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		611,298,822
1年以内返済予定長期借入金		517,812,289
医業未払金		1,063,616,607
未払金		134,713,972
1年以内支払予定リース債務		98,164,008
未払消費税等		7,415,900
前受金		209,009,688
預り金		101,157,803
引当金		
賞与引当金	394,751,548	
流動負債合計		3,149,661,837
負債合計		13,741,587,488
純 資 産 の 部		
I 資本金		
設立団体出資金	160,235,890	
資本金合計		160,235,890
II 繰越欠損金		
当期末処理損失	△ 1,054,842,298	
(うち当期総利益)	(453,973,570)	
繰越欠損金合計		△ 1,054,842,298
純資産合計		△ 894,606,408
負債純資産合計		12,846,981,080

損益計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額	
営 業 収 益		
医業収益		
入院収益	7,406,224,576	
外来収益	4,221,661,381	
その他医業収益	394,301,286	12,022,187,243
運営費負担金収益		2,810,858,173
補助金等収益		17,705,994
寄附金収益		277,020
資産見返運営費負担金戻入		832,571,000
資産見返補助金等戻入		16,848,033
資産見返寄附金戻入		5,060,586
資産見返物品受贈額戻入		4,567,073
その他営業収益		115,455
営業収益合計		15,710,190,577
営 業 費 用		
医業費用		
給与費	7,049,849,273	
材料費	4,142,955,146	
経費	2,146,391,374	
減価償却費	1,098,005,551	
研究研修費	139,919,011	14,577,120,355
一般管理費		
給与費	153,592,435	
経費	22,597,108	
減価償却費	29,058,375	205,247,918
取得財産に係る控除対象外消費税償却		55,009,519
控除対象外消費税(消費税損失)		561,272,434
営業費用合計		15,398,650,226
営業利益		311,540,351
営 業 外 収 益		
運営費負担金収益		171,132,000
寄附金収益		544,820
財務収益		288,692
その他営業外収益		62,032,701
営業外収益合計		233,998,213
営 業 外 費 用		
財務費用		104,585,476
その他営業外費用		121,136,543
営業外費用合計		225,722,019
経常利益		319,816,545
臨 時 利 益		
過年度損益修正益		9,687,950
貸倒引当金戻入益		294,300
運営費負担金収益		134,230,000
その他臨時利益		1,400,009
臨時利益合計		145,612,259
臨 時 損 失		
固定資産除却損		2,655,377
その他臨時損失		8,799,857
臨時損失合計		11,455,234
当期純利益		453,973,570
当期総利益		453,973,570

キャッシュ・フロー計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
医療材料の購入による支出	△ 4,544,948,145
人件費支出	△ 7,760,844,547
その他業務支出	△ 2,487,537,854
医業収入	11,860,370,693
運営費負担金収入	3,116,220,173
補助金等収入	18,580,121
寄附金収入	361,345
その他業務収入	134,512,358
小計	336,714,144
利息受取額	287,358
利息支払額	△ 104,585,476
業務活動によるキャッシュ・フロー	232,416,026
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の戻入による収入	4,900,000,000
定期預金の預入による支出	△ 4,900,000,000
有形固定資産の取得による支出	△ 1,400,198,018
有形固定資産の売却による収入	6,750,000
有価証券の償還による収入	100,000,000
運営費負担金収入	832,571,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 460,877,018
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金による収入	1,000,000,000
短期借入金の返済による支出	△ 1,000,000,000
長期借入金による収入	1,029,500,000
長期借入金の返済による支出	△ 607,850,815
移行前地方債償還債務の償還による支出	△ 614,291,717
リース債務の返済による支出	△ 95,288,278
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 287,930,810
IV 資金増加額(又は減少額)	△ 516,391,802
V 資金期首残高	1,840,177,520
VI 資金期末残高	1,323,785,718

損失の処理に関する書類
(令和2年 8月 26日)

【地方独立行政法人 宮城県立病院機構】		(単位:円)
科 目	金 額	
I 当期末処理損失		△ 1,054,842,298
当期総利益	453,973,570	
前期繰越欠損金	△ 1,508,815,868	
II 損失処理額		0
III 次期繰越欠損金		<u>△ 1,054,842,298</u>

行政サービス実施コスト計算書
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額		
I 業務費用			
(1) 損益計算書上の費用			
医業費用	14,577,120,355		
一般管理費	205,247,918		
取得財産に係る控除対象外消費税償却	55,009,519		
控除対象外消費税(消費税損失)	561,272,434		
営業外費用	225,722,019		
臨時損失	11,455,234	15,635,827,479	
(2) (控除) 自己収入等			
医業収益	△ 11,935,271,050		
寄付金収益	△ 821,840		
臨時利益	△ 9,982,250		
その他収益	△ 67,497,434	△ 12,013,572,574	
業務費用合計			3,622,254,905
(うち減価償却費充当補助金相当額)			(853,986,106)
II 引当外退職給付増加見積額	8,127,000		8,127,000
III 機会費用			
地方公共団体出資等の機会費用	8,011		
無利子又は通常より有利な条件 による融資取引の機会費用	12,750,000		12,758,011
IV 行政サービス実施コスト			3,643,139,916

注 記 事 項

I 重要な会計方針

- 1 運営費負担金収益の計上基準
期間進行基準を採用しております。
ただし、移行前地方債利息等については費用進行基準を採用しております。
- 2 減価償却の会計処理方法
 - (1) 有形固定資産
定額法を採用しております。
なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりです。

建物	4年～39年
構築物	3年～37年
機器備品	1ヶ月～21年
車両	2年～6年
 - (2) 無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、法人内利用ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間に基づいて償却しております。
- 3 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準
役職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。
退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については期間定額基準によっております。
過去勤務費用は、その発生時における職員の平均残存勤務期間内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理しております。
数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における役職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。
なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、事業年度末に在籍する派遣職員について、期末の自己都合要支給額から期首の自己都合要支給額を控除して計算しております。
- 4 貸倒引当金の計上基準
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- 5 賞与引当金の計上基準
役職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。
- 6 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的債券については、償却原価法（定額法）を採用しております。
- 7 たな卸資産の評価基準及び評価方法
医薬品、診療材料及び貯蔵品とも、最終仕入原価法に基づく低価法によっております。
- 8 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法
 - (1) 地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率
10年利付国債の令和2年3月末における利回りを参考に0.005%で計算しております。
 - (2) 政府又は地方公共団体の無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用の計算に使用した利率
宮城県からの無利子の短期借入金については、市中金融機関からの借入利息1.275%にて計算しております。

9 リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

10 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

II 金融商品関係の時価等に関する事項

1 金融商品関係の状況に関する事項

当法人の資金運用は、預金並びに国債、地方債、政府保証債等に限定し、資金調達については設立団体からの借入により資金を調達しております。

未収債権等に係る回収リスクは、未収金取扱要領に沿ってリスク低減を図っておりま
借入金等の使途は運転資金（主として短期借入金）及び事業投資資金（長期）であ
り、設立団体の長により認可された資金計画に従って、資金調達を行っております。

2 金融商品関係の時価に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：円）

区 分	貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1) 現金及び預金	1,323,785,718	1,323,785,718	—
(2) 未 収 金	1,988,527,984	1,988,527,984	—
(3) 長期借入金	(4,258,247,017)	(4,431,069,160)	(172,822,143)
(4) 移行前地方債 償 還 債 務	(2,378,004,466)	(2,571,932,749)	(193,928,283)
(5) 未 払 金	(1,198,330,579)	(1,198,330,579)	—
(6) リース債務	(238,788,960)	(238,781,190)	(△ 7,770)

（注1）負債で計上されているものは（ ）で表示しております。

（注2）金融商品の時価の算出方法

- ・ (1)現金及び預金、(2)未収金、(5)未払金
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。
- ・ (3)長期借入金、(4)移行前地方債償還債務、(6)リース債務
これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算出する方法によっております。
なお、長期借入金及び移行前地方債償還債務には、1年以内返済予定の金額を、リース債務には、1年以内支払予定の金額を含めて記載しております。
また、リース債務の貸借対照表計上額は利子を含んでおります。

III 損益計算書関係

その他営業外費用には、循環器・呼吸器病センターの閉院に係る諸費用
60,913,000円が、営業外収益の運営費負担金収益には、これに対応する同額の宮城県からの運営費負担金が含まれております。

IV キャッシュ・フロー計算書関係

1 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	1,323,785,718 円
現金及び預金勘定のうち定期預金	0 円
資金期末残高	1,323,785,718 円

2 重要な非資金取引

ファイナンス・リースによる資産の取得	150,707,856 円
--------------------	---------------

V オペレーティング・リース取引関係

該当ありません。

VI 固定資産の減損関係

1 固定資産のグルーピングの方法

当法人においては、継続的に収支の把握を行っている各病院単位を1つの資産グループとして取り扱っております。

2 共用資産の取扱い

(1) 共用資産の概要 (単位：円)

名 称	場 所	固定資産額
法人本部	宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1	51,745,017

(2) 共用資産の取扱いの方法

共用資産に係る減損の兆候の把握等は、2病院に法人本部を加えた機構全体で行います。

3 減損の兆候が認められた固定資産

該当事項はありません。

VII 退職給付関係

1 採用している退職給付制度の概要

当法人は、職員の退職給付に充てるため、非積立型の退職一時金制度を採用しております。当該制度では、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しております。

2 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	5,590,047,317 円
勤務費用	319,002,822 円
利息費用	39,749,546 円
数理計算上の差異の当期発生額	△ 111,246,676 円
退職給付の支払額	△ 223,182,078 円
退職給付債務の承継費	△ 175,173,685 円
前年度修正額	△ 595,636,906 円
期末における退職給付債務	4,843,560,340 円

(注) 退職給付債務の承継費は、栗原市への身分移行職員分の退職給付債務負担額となっております。

また、前年度修正額は、平成30年度における数理計算上の差異の当期発生額の算定誤りを修正したものです。

(2) 退職給付債務と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

非積立型制度の末積立退職給付債務	4,843,560,340 円
未認識数理計算上の差異	△ 141,650,200 円
未認識過去勤務費用	130,691,743 円
退職給付引当金	4,832,601,883 円

(3) 退職給付に関連する損益	
勤務費用	319,002,822 円
利息費用	39,749,546 円
数理計算上の差異の当期の費用処理額	△ 9,734,922 円
過去勤務費用の当期の費用処理額	△ 14,914,899 円
合計	334,102,547 円

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項	
期末における主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表している。）	
割引率	0.80%

VIII 賃貸等不動産関係

賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

IX 資産除去債務

該当事項はありません。

X 重要な債務負担行為

当事業年度末までに契約を締結し、翌事業年度以降に支払いが発生する重要なものは、以下のとおりです。

(単位：円)

契 約 内 容	病 院 名	契 約 金 額	翌事業年度以降の支払金額
ESCO事業契約 (H30～R5)	がんセンター	249,102,000	207,900,000
医事業務 (H31～R3)	がんセンター	402,765,090	269,326,200
画像診断装置保守 点検業務 (H31～ R3)	がんセンター	189,504,000	126,720,000
トモセラピーシス テム保守点検業務 (H31～R3)	がんセンター	113,505,000	75,900,000
リニアック保守点 検業務 (H31～R3)	がんセンター	151,587,408	101,365,440
物品・薬品管理業 務 (R2～R4)	がんセンター	154,539,000	154,539,000
中央材料室滅菌業 務 (R2～R4)	がんセンター	142,560,000	142,560,000
建物総合管理業務 (R2～R4)	がんセンター	573,705,000	573,705,000

XI 重要な後発事象

該当事項はありません。

財 務 諸 表

(附属明細書)

附属明細書

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細

(単位:円)

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額	当期償却額	差引当期末残高	摘要
有形固定資産 (償却費損益内)	建物	9,142,118,920	425,333,300	0	9,567,452,220	3,777,133,721	435,621,211	5,790,318,499	
	構築物	175,680,727	26,430,000	0	202,110,727	100,069,376	9,976,595	102,041,351	
	器械備品	6,072,651,081	702,967,842	762,709,812	6,012,909,111	4,403,987,603	555,082,437	1,608,921,508	
	車両	5,906,087	6,854,813	788,186	11,972,714	4,972,359	941,043	7,000,355	
	計	15,396,356,815	1,161,585,955	763,497,998	15,794,444,772	8,286,163,059	1,001,621,286	7,508,281,713	
有形固定資産 (償却費損益外)	建物								
	構築物								
	計								
非償却資産	土地	1,303,590,000	0	0	1,303,590,000			1,303,590,000	
	建設仮勘定	0	0	0	0			0	
	その他有形固定資産	3,850,000	0	1,400,000	2,450,000			2,450,000	
	計	1,307,440,000	0	1,400,000	1,306,040,000			1,306,040,000	
有形固定資産 合計	土地	1,303,590,000	0	0	1,303,590,000			1,303,590,000	
	建物	9,142,118,920	425,333,300	0	9,567,452,220	3,777,133,721	435,621,211	5,790,318,499	(注1)
	構築物	175,680,727	26,430,000	0	202,110,727	100,069,376	9,976,595	102,041,351	
	器械備品	6,072,651,081	702,967,842	762,709,812	6,012,909,111	4,403,987,603	555,082,437	1,608,921,508	(注2)
	車両	5,906,087	6,854,813	788,186	11,972,714	4,972,359	941,043	7,000,355	
	建設仮勘定	0	0	0	0			0	
	その他有形固定資産	3,850,000	0	1,400,000	2,450,000			2,450,000	
	計	16,703,796,815	1,161,585,955	764,897,998	17,100,484,772	8,286,163,059	1,001,621,286	8,814,321,713	
無形固定資産	ソフトウェア	1,045,280,000	1,250,000	305,282,000	741,248,000	518,514,427	125,442,640	222,733,573	(注3)
	電話加入権	578,000	0	0	578,000			578,000	
	その他無形固定資産	697,591	0	697,591	0	0	0	0	
	計	1,046,555,591	1,250,000	305,979,591	741,826,000	518,514,427	125,442,640	223,311,573	
投資その他の 資産	長期前払消費税	534,884,854	105,372,856	0	640,257,710	368,721,748	55,009,519	271,535,962	
	その他投資資産	124,850	25,700	38,620	111,930			111,930	
	計	535,009,704	105,398,556	38,620	640,369,640	368,721,748	55,009,519	271,647,892	

(注1)当期増加額は、がんセンターの大規模修繕事業(396,520,300円)等によるものです。

(注2)当期増加額は、がんセンターの支援ロボット手術(ダヴィンチ)の導入(272,180,000円)等によるものです。

当期減少額は、循環器・呼吸器病センター閉院に伴い、当院の保有していたMRI装置等の医療機器を売却したこと等によるものです。

(注3)当期減少額は、精神医療センターの医療情報システムの除却(104,230,000円)等によるものです。

(2) たな卸資産の明細

(単位:円)

種 類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・製造・振替	その他	払出・振替	その他(注)		
医薬品	74,756,603	3,624,039,166	0	3,623,167,985	7,057,728	68,570,056	
診療材料	49,920,062	515,513,158	0	511,416,429	6,211,829	47,804,962	
貯蔵品	5,026,928	91,488,399	0	92,865,478	720,860	2,928,989	
計	129,703,593	4,231,040,723	0	4,227,449,892	13,990,417	119,304,007	

(注)当期減少額のその他には、期限切れにより廃棄又は滅失した資産及び旧循環器・呼吸器病センターにおいて廃棄した資産等を記載しております。

(3) 長期借入金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	平均利率(%)	返済期限	摘要
平成23年度 災害復旧貸付金	5,914,272	—	1,957,664	3,956,608	0.700%	令和4年3月1日	
施設整備事業貸付金	9,616,670	—	9,616,670	0	0.694%	令和2年3月30日	
施設整備事業貸付金	8,062,500	—	2,687,500	5,375,000	0.830%	令和4年3月28日	
施設整備事業貸付金	436,128,000	—	18,172,000	417,956,000	1.500%	令和25年3月30日	
医療機械器具整備事業貸付金	80,170,000	—	80,170,000	0	0.391%	令和元年9月27日	
施設整備事業貸付金	490,100,000	—	16,498,401	473,601,599	1.400%	令和26年3月20日	
施設整備事業貸付金	125,200,000	—	0	125,200,000	1.200%	令和27年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	167,094,500	—	167,094,500	0	0.164%	令和2年3月27日	
医療機械器具整備事業貸付金	133,200,700	—	66,600,350	66,600,350	0.072%	令和3年3月29日	
施設整備事業貸付金	158,200,000	—	0	158,200,000	0.500%	令和28年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	564,311,190	—	188,103,730	376,207,460	0.068%	令和4年3月29日	
施設整備事業貸付金	371,500,000	—	0	371,500,000	0.600%	令和29年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	227,800,000	—	56,950,000	170,850,000	0.084%	令和5年3月29日	
施設整備事業貸付金	289,800,000	—	0	289,800,000	0.400%	令和30年3月29日	
医療機械器具整備事業貸付金	649,100,000	—	0	649,100,000	0.084%	令和6年3月27日	
施設整備事業貸付金	66,200,000	—	0	66,200,000	0.224%	令和31年3月29日	
施設整備事業貸付金	54,200,000	—	0	54,200,000	0.400%	令和31年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	0	544,000,000	0	544,000,000	0.084%	令和7年3月27日	
施設整備事業貸付金	0	464,000,000	0	464,000,000	0.146%	令和32年3月28日	
施設整備事業貸付金	0	21,500,000	0	21,500,000	0.002%	令和8年3月20日	
計	3,836,597,832	1,029,500,000	607,850,815	4,258,247,017	—	—	

(4) 移行前地方債償還債務の明細

(単位:円)

銘 柄	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率(%)	償還期限	摘要
大蔵省資金運用部	1,350,024,646	—	315,802,084	1,034,222,562	4.400%	令和5年3月25日	
大蔵省資金運用部	98,126,740	—	18,231,888	79,894,852	3.650%	令和6年3月1日	
大蔵省資金運用部	45,501,137	—	4,643,630	40,857,507	2.100%	令和10年3月1日	
大蔵省資金運用部	160,804,836	—	14,611,363	146,193,473	2.100%	令和11年3月1日	
大蔵省資金運用部	25,487,798	—	2,315,922	23,171,876	2.100%	令和11年3月1日	
公営企業金融公庫	147,137,131	—	11,961,317	135,175,814	2.200%	令和12年3月20日	
財務省財政融資資金	39,956,578	—	2,686,437	37,270,141	2.200%	令和14年3月1日	
財務省財政融資資金	336,692,934	—	22,637,184	314,055,750	2.200%	令和14年3月1日	
財務省財政融資資金	251,452,237	—	16,931,434	234,520,803	0.900%	令和15年3月25日	
三井住友銀行	95,162,140	—	57,153,792	38,008,348	2.060%	令和3年3月25日	
東和銀行	441,950,006	—	147,316,666	294,633,340	1.030%	令和4年3月25日	
計	2,992,296,183	—	614,291,717	2,378,004,466			

(5) 引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他(注)		
退職給付引当金	4,896,855,099	334,102,547	398,355,763		4,832,601,883	(注1)
賞与引当金	418,930,926	394,751,548	418,930,926		394,751,548	
貸倒引当金	25,999,599	268,548	2,884,541	294,300	23,089,306	(注2)
計	5,341,785,624	729,122,643	820,171,230	294,300	5,250,442,737	

(注1) 退職給付引当金の当期減少額の目的使用には、退職給付債務の承継費 175,173,685円が含まれています。

(注2) 貸倒引当金の当期減少額のその他は、回収による取崩しによるものです。

(6) 資本金の明細

(単位:円)

区 分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	設立団体出資金	160,235,890	0	0	160,235,890	
	計	160,235,890	0	0	160,235,890	

(7) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

ア 運営費負担金債務 (単位:円)

交付年度	期首残高	負担金当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費負担金収益	資産見返運営費負担金	資本剰余金	小計	
令和元年度	0	3,948,791,173	3,116,220,173	832,571,000		3,948,791,173	0
計	0	3,948,791,173	3,116,220,173	832,571,000	0	3,948,791,173	0

イ 運営費負担金収益

業務等区分	令和元年度負担分	合計
期間進行基準	2,810,858,173	2,810,858,173
費用進行基準	305,362,000	305,362,000
計	3,116,220,173	3,116,220,173

(8) 地方公共団体等からの財源措置の明細

ア 補助金等の明細 (単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳					摘要
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資産剰余金	長期預り補助金等	収益計上	
がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	17,100,000					17,100,000	
新人看護職員研修事業補助金	422,000					422,000	
医師臨床研修費補助事業補助金	183,994					183,994	
計	17,705,994	0	0	0	0	17,705,994	

(9) 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

区 分	報酬または給与		退職手当	
	支給額	支給人数	支給額	支給人数
役 員	(1,560)	(4)	(0)	(0)
	24,128	2	0	0
職 員	(250,206)	(118)	(0)	(0)
	5,479,304	719	223,183	46
計	(251,766)	(122)	(0)	(0)
	5,503,432	721	223,183	46

(注1)

非常勤・有期職員については、外数として()内に記載しています。
また、支給人数については、年間平均支給人数で記載しています。

(注2)

役員報酬については、「地方独立行政法人宮城県立病院機構役員報酬等規程」に基づき支給しています。
職員給与及び退職手当については、「地方独立行政法人宮城県立病院機構職員給与規程」及び「地方独立行政法人宮城県立病院機構職員退職手当規程」に基づき支給しています。

(注3)

上記明細には、法定福利費は含めていません。

(10) 開示すべきセグメント情報

(単位:円)

区分		精神医療センター	がんセンター	計	機構本部	合計	
営業収益		2,904,605,405	12,766,207,616	15,670,813,021	39,377,556	15,710,190,577	
	医業収益	1,886,198,900	10,135,988,343	12,022,187,243	0	12,022,187,243	
	運営費負担金	980,332,000	1,815,548,637	2,795,880,637	14,977,536	2,810,858,173	
	資産見返負債戻入	38,074,505	796,849,187	834,923,692	24,123,000	859,046,692	
	その他営業収益	0	17,821,449	17,821,449	277,020	18,098,469	
営業費用		2,946,287,802	12,239,747,126	15,186,034,928	212,615,298	15,398,650,226	
	医業費用	2,885,893,202	11,689,571,475	14,575,464,677	1,655,678	14,577,120,355	
	一般管理費	0	0	0	205,247,918	205,247,918	
	その他営業費用	60,394,600	550,175,651	610,570,251	5,711,702	616,281,953	
営業損益		△ 41,682,397	526,460,490	484,778,093	△ 173,237,742	311,540,351	
営業外収益		20,525,771	125,599,164	146,124,935	87,873,278	233,998,213	
	運営費負担金収益	11,279,000	72,291,000	83,570,000	87,562,000	171,132,000	
	その他営業外収益	9,246,771	53,308,164	62,554,935	311,278	62,866,213	
営業外費用		10,077,275	154,222,003	164,299,278	61,422,741	225,722,019	
	財務費用	9,673,099	94,838,572	104,511,671	73,805	104,585,476	
	その他営業外費用	404,176	59,383,431	59,787,607	61,348,936	121,136,543	
経常損益		△ 31,233,901	497,837,651	466,603,750	△ 146,787,205	319,816,545	
総資産		2,091,381,546	9,383,070,675	11,474,452,221	1,372,528,859	12,846,981,080	
(主要資産内訳)							
	固定資産	有形固定資産	1,530,133,166	7,235,974,213	8,766,107,379	48,214,334	8,814,321,713
	流動資産	現金及び預金	346,773	2,687,514	3,034,287	1,320,751,431	1,323,785,718
		未収金	325,290,932	1,661,724,005	1,987,014,937	1,513,047	1,988,527,984

(注)セグメントの区分については、地方独立行政法人宮城県立病院機構会計規程に基づき、経理単位に区分しています。

(11) 医業費用及び一般管理費の明細

(単位:円)

科目	金額	
医業費用		
給与費		
給料	2,906,193,701	
手当等	2,078,906,269	
賃金	213,860,549	
法定福利費	1,133,607,406	
退職給付費用	329,402,441	
賞与引当金繰入額	387,878,907	7,049,849,273
材料費		
薬品費	3,623,167,985	
診療材料費	511,416,429	
医療消耗備品費	1,824,500	
たな卸資産減耗費	6,546,232	4,142,955,146
経費		
報償費	107,187,976	
旅費交通費	4,915,289	
職員被服費	8,924,526	
消耗品費	59,117,192	
消耗備品費	631,573	
光熱水費	210,191,837	
燃料費	83,658,038	
交際費	252,060	
食糧費	52,800	
印刷製本費	4,544,390	
修繕費	65,658,758	
保険料	13,283,381	
広告宣伝費	2,623,054	
通信運搬費	10,459,614	
賃借料	50,075,365	
委託料	1,485,995,608	
職員採用費	41,113	
諸会費	3,292,757	
貸倒引当金繰入額	251,308	
医業貸倒損失	0	
雑費	35,234,735	2,146,391,374
減価償却費		
建物減価償却費	435,621,211	
構築物減価償却費	9,976,595	
器械備品減価償却費	527,107,078	
車両減価償却費	675,784	
無形固定資産減価償却費	124,624,883	1,098,005,551
研究研修費		
研究材料費	13,707,218	
報償費	1,487,075	
研究旅費	29,101,394	
図書費	6,302,764	
研究雑費	89,320,560	139,919,011
医業費用合計		14,577,120,355
取得資産に係る控除対象外消費税償却		55,009,519
控除対象外消費税(消費税損失)		561,272,434
合 計		15,193,402,308

科目	金額	
一般管理費		
給与費		
給料	52,263,500	
手当等	26,656,483	
賃金	10,534,027	
報酬	25,648,981	
法定福利費	26,916,697	
退職給付費用	4,700,106	
賞与引当金繰入額	6,872,641	153,592,435
経費		
報償費	1,200,000	
旅費交通費	692,643	
消耗品費	881,485	
消耗備品費	63,600	
光熱水費	637,379	
燃料費	255,757	
交際費	206,450	
食糧費	695	
印刷製本費	26,000	
修繕費	381,133	
保険料	47,180	
通信運搬費	328,868	
賃借料	1,322,561	
委託料	14,736,547	
職員採用費	543,011	
諸会費	136,107	
雑費	1,137,692	22,597,108
減価償却費		
器械備品減価償却費	27,975,359	
車両減価償却費	265,259	
無形固定資産減価償却費	817,757	29,058,375
一般管理費合計		205,247,918

(12) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

現金及び預金の内訳

区分	期末残高	備考
現金	3,062,967	
普通預金	1,320,722,751	
定期預金	0	
計	1,323,785,718	

決 算 報 告 書

令和元年度

(第9期事業年度)

自 平成31年4月 1 日

至 令和2年3月31日

地方独立行政法人宮城県立病院機構

令和元年度決算報告書

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	15,172,894,000	15,746,989,121	574,095,121	
医業収益	11,586,848,000	12,058,981,242	472,133,242	がんCにて入院・外来患者数が目標を上回ったことによる増
運営費負担金	2,737,451,000	2,810,858,173	73,407,173	平成30年度の精算分による増
資産見返運営費負担金戻入	807,105,000	832,571,000	25,466,000	循呼Cの企業債を継承したことによる増
その他営業収益	41,490,000	44,578,706	3,088,706	
営業外収益	184,760,000	239,288,351	54,528,351	
運営費負担金	110,175,000	171,132,000	60,957,000	循呼C閉院に要した経費分の宮城県からの交付による増
その他営業外収益	74,585,000	68,156,351	△ 6,428,649	
臨時利益	134,230,000	146,112,259	11,882,259	循呼Cの過年度医業収入の入金による増
目的積立金取崩額	0	0	0	
資本収入	1,648,400,000	1,029,500,000	△ 618,900,000	
運営費負担金	0	0	0	
長期借入金	1,648,400,000	1,029,500,000	△ 618,900,000	精神Cの大規模修繕事業の翌年度以降への繰越等による減
その他資本収入	0	0	0	
計	17,140,284,000	17,161,889,731	21,605,731	
支出				
営業費用	14,943,322,000	15,433,142,528	489,820,528	
医業費用	14,342,351,000	14,764,103,666	421,752,666	
給与費	7,170,639,000	7,056,712,233	△ 113,926,767	有期雇用職員の未採用等による賃金の減等
材料費	3,517,480,000	4,142,955,146	625,475,146	がんCの入院・外来患者数が目標を上回ったこと等による増
経費	2,371,251,000	2,317,525,582	△ 53,725,418	契約請差等による減
減価償却費	1,083,925,000	1,098,005,551	14,080,551	がんCの手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」の購入時期を前倒したこと等による増
研究研修費	199,056,000	148,905,154	△ 50,150,846	執行残や受託研究等の収入見合い分の減等
一般管理費	188,432,000	207,502,886	19,070,886	
給与費	152,859,000	153,842,831	983,831	
経費	31,404,000	24,601,680	△ 6,802,320	契約請差等による減
減価償却費	4,169,000	29,058,375	24,889,375	循呼Cの電子カルテシステム等を継承したことによる増
消費税及び地方消費税	29,087,000	24,803,900	△ 4,283,100	
取得資産に係る控除対象外消費税償却	59,695,000	55,009,519	△ 4,685,481	
控除対象外消費税	323,757,000	381,722,557	57,965,557	材料費の増加による増
営業外費用	253,312,000	233,818,399	△ 19,493,601	予備費の減
臨時損失	1,358,000	11,455,234	10,097,234	循呼Cの医療材料の廃棄等による増
資本支出	2,983,492,000	2,423,719,473	△ 559,772,527	
建設改良費	1,801,347,000	1,201,576,941	△ 599,770,059	精神C大規模修繕等の翌年度以降への繰越による減
償還金	1,182,145,000	1,222,142,532	39,997,532	循呼Cの電子カルテシステム等の企業債の未償還の医療機器を継承したことによる増
その他資本支出	0	0	0	
計	18,181,484,000	18,102,135,634	△ 79,348,366	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

令和元年度決算報告書

【精神医療センター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	3,077,629,000	2,917,404,592	△ 160,224,408	入院・外来患者数の目標未達等による減
医業収益	2,059,551,000	1,898,998,087	△ 160,552,913	
運営費負担金	980,332,000	980,332,000	0	
資産見返運営費負担金戻入	29,971,000	30,299,000	328,000	
その他営業収益	7,775,000	7,775,505	505	
営業外収益	22,394,000	21,332,642	△ 1,061,358	
運営費負担金	11,278,000	11,279,000	1,000	
その他営業外収益	11,116,000	10,053,642	△ 1,062,358	
臨時利益	0	0	0	
目的積立金取崩額	0	0	0	
資本収入	527,100,000	45,000,000	△ 482,100,000	大規模修繕事業の翌年度以降への繰越による減
長期借入金	527,100,000	45,000,000	△ 482,100,000	
その他資本収入	0	0	0	
計	3,627,123,000	2,983,737,234	△ 643,385,766	
支出				
営業費用	3,017,518,000	2,959,882,855	△ 57,635,145	有期雇用職員の未採用等による賃金の減等 入院・外来患者数の目標未達等による減
医業費用	2,983,650,000	2,929,263,188	△ 54,386,812	
給与費	2,059,391,000	2,034,059,614	△ 25,331,386	
材料費	147,624,000	135,018,046	△ 12,605,954	
経費	593,068,000	577,483,227	△ 15,584,773	
減価償却費	170,327,000	172,160,580	1,833,580	契約請差等による減
研究研修費	13,240,000	10,541,721	△ 2,698,279	
消費税及び地方消費税	8,724,000	7,924,846	△ 799,154	執行残による減
取得資産に係る控除対象外消費税償却	8,870,000	7,425,761	△ 1,444,239	
控除対象外消費税	16,274,000	15,269,060	△ 1,004,940	
営業外費用	10,351,000	10,088,280	△ 262,720	
臨時損失	1,000	16	△ 984	
資本支出	593,868,000	116,706,602	△ 477,161,398	大規模修繕事業の翌年度以降への繰越による減
建設改良費	546,582,000	68,765,313	△ 477,816,687	
償還金	47,286,000	47,941,289	655,289	
計	3,621,738,000	3,086,677,753	△ 535,060,247	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

令和元年度決算報告書

【がんセンター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	12,081,313,000	12,790,206,973	708,893,973	
医業収益	9,527,297,000	10,159,983,155	632,686,155	入院・外来患者数が目標を上回ったこと等による増
運営費負担金	1,744,309,000	1,815,548,637	71,239,637	平成30年度の精算分による増
資産見返運営費負担金戻入	776,397,000	778,149,000	1,752,000	
その他営業収益	33,310,000	36,526,181	3,216,181	
営業外収益	135,757,000	130,079,313	△ 5,677,687	
運営費負担金	72,288,000	72,291,000	3,000	
その他営業外収益	63,469,000	57,788,313	△ 5,680,687	院内保育所収益や受託研究治験協力費の減等
臨時利益	0	0	0	
目的積立金取崩額	0	0	0	
資本収入	1,027,000,000	982,200,000	△ 44,800,000	
長期借入金	1,027,000,000	982,200,000	△ 44,800,000	手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」等の契約請差による減等
その他資本収入	0	0	0	
計	13,244,070,000	13,902,486,286	658,416,286	
支出				
営業費用	11,729,344,000	12,263,350,952	534,006,952	
医業費用	11,351,762,000	11,833,035,093	481,273,093	
給与費	5,111,248,000	5,022,652,619	△ 88,595,381	有期雇用職員の未採用等による賃金の減等
材料費	3,369,856,000	4,007,937,100	638,081,100	入院・外来患者数が目標を上回ったこと等による増
経費	1,778,183,000	1,740,042,355	△ 38,140,645	契約請差等による減
減価償却費	913,598,000	925,844,971	12,246,971	手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」の購入時期を前倒した事等による増
研究研修費	178,877,000	136,558,048	△ 42,318,952	受託研究等の収入見合い分の減等
消費税及び地方消費税	20,363,000	16,586,368	△ 3,776,632	
取得資産に係る控除対象外消費税償却	49,779,000	47,420,218	△ 2,358,782	
控除対象外消費税	307,440,000	366,309,273	58,869,273	材料費の増加による増
営業外費用	166,683,000	159,097,683	△ 7,585,317	企業債の支払利息の確定による減
臨時損失	1,000	105	△ 895	
資本支出	2,290,545,000	2,264,987,873	△ 25,557,127	
建設改良費	1,157,161,000	1,128,100,080	△ 29,060,920	手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」等の契約請差による減等
償還金	1,133,384,000	1,136,887,793	3,503,793	
計	14,186,573,000	14,687,436,613	500,863,613	

(注)損益計算の計上額と決算額の相違:上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

令和元年度決算報告書

【本部】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	13,952,000	39,377,556	25,425,556	
運営費負担金	12,810,000	14,977,536	2,167,536	平成30年度の精算分による増
資産見返運営費負担金戻入	737,000	24,123,000	23,386,000	循呼Cの企業債を継承したことによる増
その他営業収益	405,000	277,020	△ 127,980	
営業外収益	26,609,000	87,876,396	61,267,396	
運営費負担金	26,609,000	87,562,000	60,953,000	循呼C閉院に要した経費分の宮城県からの交付による増
その他営業外収益	0	314,396	314,396	
臨時利益	134,230,000	146,112,259	11,882,259	循呼Cの過年度医業収入の入金による増
目的積立金取崩額	0	0	0	
資本収入	94,300,000	2,300,000	△ 92,000,000	
長期借入金	94,300,000	2,300,000	△ 92,000,000	人事・給与システムの稼働が翌年度にとなったことによる減
その他資本収入	0	0	0	
計	269,091,000	275,666,211	6,575,211	
支出				
営業費用	196,460,000	209,908,721	13,448,721	
医業費用	6,939,000	1,805,385	△ 5,133,615	
経費	0	0	0	
研究研修費	6,939,000	1,805,385	△ 5,133,615	執行残による減
一般管理費	188,432,000	207,502,886	19,070,886	
給与費	152,859,000	153,842,831	983,831	
経費	31,404,000	24,601,680	△ 6,802,320	契約請差等による減
減価償却費	4,169,000	29,058,375	24,889,375	循呼Cの電子カルテシステム等を継承したことによる増
消費税及び地方消費税	0	292,686	292,686	
取得資産に係る控除対象外消費税償却	1,046,000	163,540	△ 882,460	
控除対象外消費税	43,000	144,224	101,224	
営業外費用	76,278,000	64,632,436	△ 11,645,564	予備費の減
臨時損失	1,356,000	11,455,113	10,099,113	循呼Cの医療材料の廃棄等による増
資本支出	99,079,000	42,024,998	△ 57,054,002	
建設改良費	97,604,000	4,711,548	△ 92,892,452	人事・給与システムの稼働が翌年度にとなったことによる減
償還金	1,475,000	37,313,450	35,838,450	循呼Cの電子カルテシステム等の企業債の未償還の医療機器を継承したことによる増
その他資本支出	0	0	0	
計	373,173,000	328,021,268	△ 45,151,732	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

業務実績報告書

令和元年度
(第9期事業年度)



自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

地方独立行政法人 宮城県立病院機構

目 次

I 地方独立行政法人宮城県立病院機構の概要

1 名称	1 ページ
2 所在地	1 ページ
3 法人設立年月日	1 ページ
4 設立団体	1 ページ
5 設立目的	1 ページ
6 業務の内容	1 ページ
7 役員	1 ページ
8 組織の現況	2 ページ
9 組織図	3 ページ
10 職員の状況	4 ページ
11 資本金の状況	5 ページ
12 沿革	5 ページ

II 財務諸表の要約

1 要約した財務諸表	7 ページ
2 財務諸表の科目	8 ページ
3 財務情報	10 ページ

III 事業報告

1 事業を取り巻く環境	14 ページ
2 令和元年度の主な取組(重点事項の実施状況)	15 ページ
3 令和元年度の経営状況	20 ページ

I 地方独立行政法人宮城県立病院機構の概要

1 名 称

地方独立行政法人宮城県立病院機構

2 所 在 地

宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1

3 法人設立年月日

平成23年4月1日

4 設立団体

宮城県

5 設立目的

地方独立行政法人宮城県立病院機構は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）に基づき、宮城県の医療政策として求められる高度・専門医療を提供するとともに、医療に関する調査及び研究を行い、県内における医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的とする。

6 業務の内容

- ① 医療の提供及びその附帯業務
- ② 医療に関する調査及び研究並びにその附帯業務
- ③ 医療に関する技術者の研修及びその附帯業務

7 役員

(令和2年3月31日現在)

職 名	氏 名	任 期	備 考
理事長	荒井 陽一	自 平成31年4月 1日 至 令和 2年3月31日	平成13年12月 東北大学大学院医学研究科・泌尿器科学分野教授 平成30年4月 宮城県立がんセンター総長 平成31年4月 (現職)
副理事長	宮崎 博之	自 平成30年4月 1日 至 令和 2年3月31日	平成27年4月 宮城県仙台地方振興事務所長 平成28年4月 宮城県公務研修所長 平成30年4月 (現職)
理事	角藤 芳久	自 平成28年4月 1日 至 令和 2年3月31日	平成23年4月 宮城県立精神医療センター副院長 平成28年4月 宮城県立精神医療センター院長 平成28年4月 (現職)
理事	山田 秀和	自 平成30年4月 1日 至 令和 2年3月31日	平成29年4月 宮城県立がんセンター副院長 平成30年4月 宮城県立がんセンター院長 平成30年4月 (現職)
理事 (非常勤)	近藤 俊之	自 平成27年4月 1日 至 令和 2年3月31日	元 千葉県病院事業管理者 平成27年4月1日 (現職)
理事 (非常勤)	瀧島 美紀	自 平成31年4月 1日 至 令和 2年3月31日	現 公立黒川病院副院長兼看護部長 平成31年4月1日 (現職)
監事	小山 かほる	自 平成27年4月 1日 至 令和 2年3月31日	現 オヤマ税理士法人 税理士・公認会計士 平成27年4月1日 (現職)
監事	佐藤 廣嗣	自 平成29年4月 1日 至 令和 2年3月31日	前 宮城県土地開発公社理事長 平成29年4月1日 (現職)

8 組織の現況

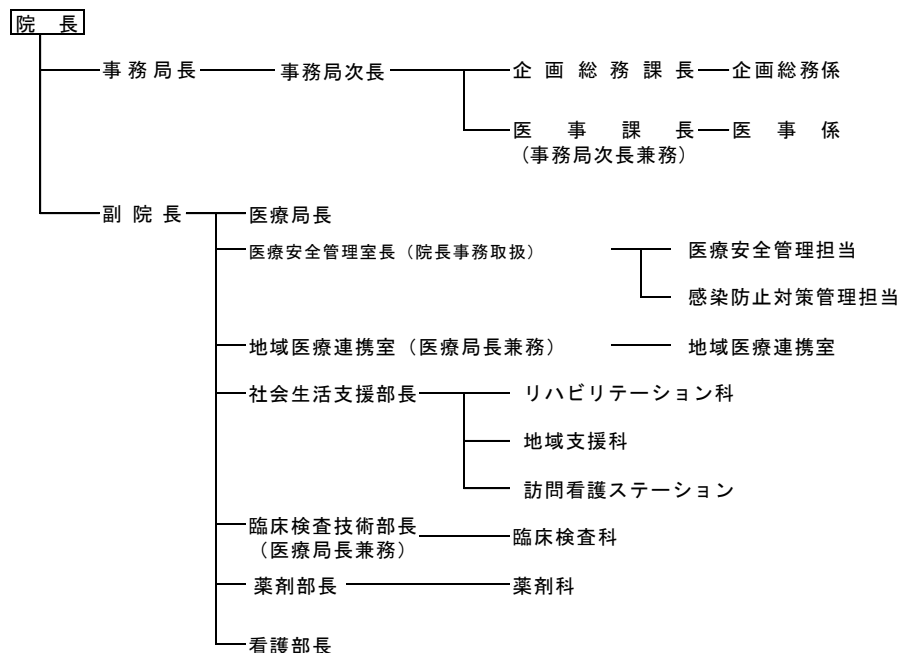
(令和2年3月31日現在)

区 分	精神医療センター	がんセンター	本 部
所 在 地	〒981-1231 名取市手倉田字山無番地 Tel 022-384-2236	〒981-1293 名取市愛島塩手字野田山47-1 Tel 022-384-3151	〒981-1239 名取市愛島塩手字野田山47-1 Tel 022-796-1042
開設年月日	昭和32年 4月12日 (平成15年4月1日名取病院から改称)	昭和42年4月1日 (平成5年4月1日成人病センターから改称)	
診療科目	精神科, 児童精神科, 歯科	血液内科, 腫瘍内科, 呼吸器内科, 消化器内科, 頭頸部内科, 緩和ケア内科, 循環器内科, 精神腫瘍科, 糖尿病・代謝内科, 呼吸器外科, 消化器外科, 乳腺外科, 整形外科, 形成外科, 脳神経外科, 泌尿器科, 婦人科, 頭頸部外科, 皮膚科, 眼科, 放射線診断科, 放射線治療科, 麻酔科, 病理診断科, 臨床検査科, 歯科	
病 床 数	精神病床 258床 (うち救急病床8床, 結核合併病床2床)	一般病床 383床 (うち緩和ケア病床25床)	
入院基本料 (施設基準)	精神病棟 精神病棟入院基本料 (15対1入院基本料) 精神科救急入院料Ⅰ (10対1入院基本料) 児童思春期精神科入院医療管理料	一般病棟 専門病院入院基本料 (7対1入院基本料) 緩和ケア病棟 緩和ケア病棟入院料	
主要職員	院 長 角 藤 芳 久 副院長 船 越 俊 一 医療局長 大 野 高 志 社会生活支援部長 佐 竹 嘉 裕 薬剤部長 小 坂 卓 哉 看護部長 齋 藤 弘 子 事務局長 橋 浦 哲	総 長 荒 井 陽 一 院 長 山 田 秀 和 研究所長 島 礼 副院長 藤 谷 恒 明 副院長 佐々木 治 医療局長 鈴 木 眞 一 臨床検査技術部長 泉 澤 淳 子 診療放射線技術部長 及 川 秀 樹 薬剤部長 高村 千津子 看護部長 星 久 美 事務局長 米 谷 邦 明	事務局長 角 屋 憲 正 看護専門監 我妻 代志子

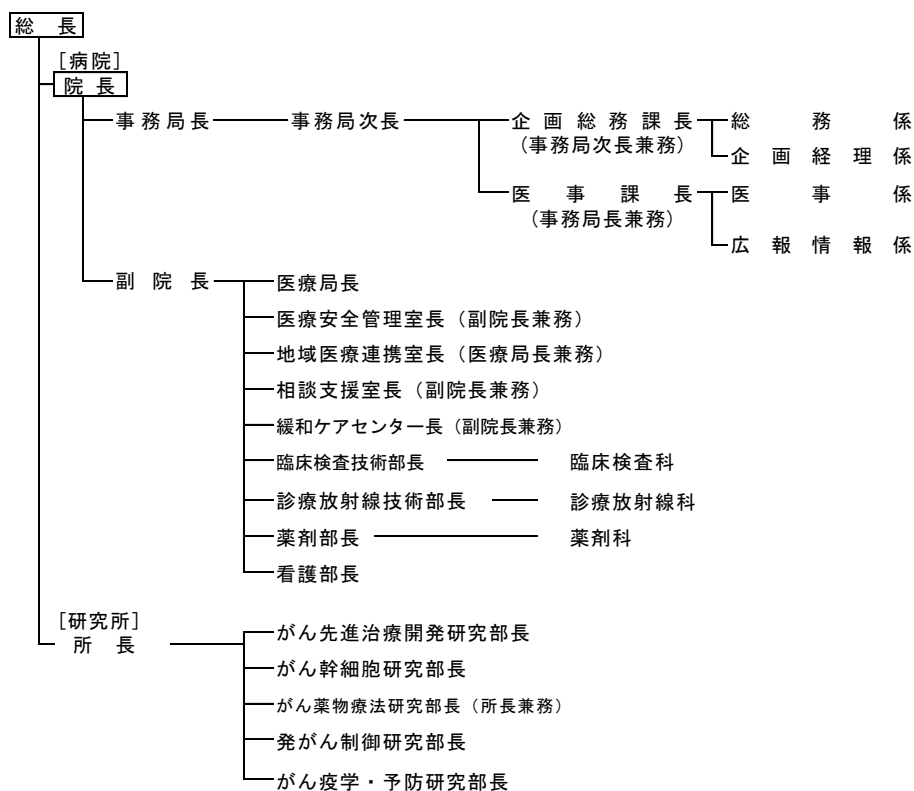
9 組織図

(令和2年3月31日現在)

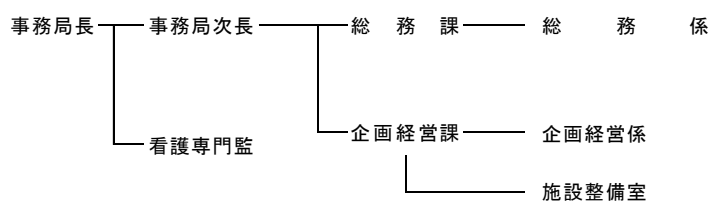
【精神医療センター】



【がんセンター】



【本部】



10 職員の状況

(令和2年3月31日現在)

職 種 等		精神医療センター			がんセンター			本部事務局			計		
		前年度末現員 (イ)	決算年度末現員 (ロ)	増減 (ロ－イ)	前年度末現員 (イ)	決算年度末現員 (ロ)	増減 (ロ－イ)	前年度末現員 (イ)	決算年度末現員 (ロ)	増減 (ロ－イ)	前年度末現員 (イ)	決算年度末現員 (ロ)	増減 (ロ－イ)
理 事 長 ・ 副 理 事 長				人 0			人 0	2	2	0	2	2	人 0
医 師		19	17	△ 2	76	75	△ 1			0	95	92	△ 3
看護職員	看護 師	147	148	1	309	310	1	1	1	0	457	459	2
	准 看 護 師	2	1	△ 1			0			0	2	1	△ 1
	看 護 助 手			0			0			0	0	0	0
	計	149	149	0	309	310	1	1	1	0	459	460	1
医療技術職員	薬 剤 師	6	6	0	24	25	1			0	30	31	1
	診 療 放 射 線 技 師			0	29	29	0			0	29	29	0
	臨 床 検 査 技 師	3	3	0	25	27	2			0	28	30	2
	保 健 師	2	2	0			0			0	2	2	0
	臨 床 心 理 士	4	4	0	1	1	0			0	5	5	0
	作 業 ・ 理 学 療 法 士	5	5	0	3	4	1			0	8	9	1
	臨 床 工 学 技 士			0	5	6	1			0	5	6	1
	医療ソーシャルワーカー			0	2	2	0			0	2	2	0
	精 神 保 健 福 祉 士	8	10	2			0			0	8	10	2
	栄 養 士	2	2	0	3	4	1			0	5	6	1
	化 学			0	2	2	0			0	2	2	0
	研 究			0	3	3	0			0	3	3	0
	歯 科 衛 生 士				0	0	0				0	0	0
	言 語 聴 覚 士				1	1	0				1	1	0
	試 験 検 査 補 助			0	0	0	0			0	0	0	0
	計	30	32	2	98	104	6	0	0	0	128	136	8
事 務 職 員		11	11	0	19	22	3	16	15	△ 1	46	48	2
合 計		209	209	0	502	511	9	19	18	△ 1	730	738	8
宮城県からの派遣職員数 (上記の内数)		2	2	0	2	1	△ 1	6	6	0	10	9	△ 1

11 資本金の状況

(単位：百万円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
県出資金	160	0	0	160
資本剰余金	0	0	0	0
利益剰余金(△繰越欠損金)	△ 1,509	454	0	△ 1,055
純資産合計	△ 1,349	454	0	△ 895

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

12 沿革

年月日	変遷等の概要
23. 4. 1	循環器・呼吸器病センター，精神医療センター，がんセンター 地方独立行政法人宮城県立病院機構へ移行 機構 理事長 初代 菅村 和夫 がんセンター 8代総長 西條 茂（院長，7代研究所長を兼務）
23. 7. 1	精神医療センター ユース外来開始 がんセンター 11代院長 片倉 隆一
23. 9. 1	がんセンター 歯科開設
24. 1. 1	循環器・呼吸器病センター 7代院長 近内 利明
24. 3. 2	循環器・呼吸器病センター病院機能評価（Ver. 6. 0）認定
25. 6. 17	がんセンター 病院機能評価（Ver. 6. 0）認定
25. 8. 1	精神医療センター 北2病棟個室化に伴う病床数変更（286床→271床）
25. 10. 1	がんセンター 集学治療棟開棟
26. 2. 1	精神医療センター 北2病棟 精神科救急入院料（スーパー救急）承認
26. 4. 1	精神医療センター 児童精神科開設 がんセンター 8代研究所長 島 礼
26. 4. 15	精神医療センター 訪問看護ステーション「ゆとり」開設
26. 5. 5	がんセンター 電子カルテシステム運用開始
26. 5. 7	がんセンター 診療科目変更（循環器内科，糖尿病・代謝内科，血液内科，腫瘍内科，呼吸器内科，呼吸器外科，消化器内科，消化器外科，乳腺外科，整形外科，形成外科，脳神経外科，泌尿器科，婦人科，眼科，頭頸部外科，放射線診断科，放射線治療科，麻酔科，病理診断科，緩和ケア内科，歯科，臨床検査科）
27. 3. 31	がんセンター 都道府県がん診療連携拠点病院指定
27. 4. 1	機構 2代理事長 西条 茂 がんセンター 9代総長 片倉 隆一 がんセンター 12代院長 小野寺 博義 循環器・呼吸器病センター 一般病床数変更（150床→90床）（30床休止） 循環器・呼吸器病センター 診療科目変更（呼吸器科・循環器科・心臓血管外科・呼吸器外科・消化器科・放射線科） 精神医療センター 地域医療連携室設置
27. 4. 15	精神医療センター 東2病棟閉鎖化（全病棟閉鎖化）
27. 7. 1	がんセンター 総合がん検診開始
27. 11. 1	精神医療センター 児童思春期ユニット開設に伴う病床数変更（271床→258床）
28. 1. 1	精神医療センター 児童・思春期精神科入院医療管理料承認

28. 4. 1	循環器・呼吸器病センター 8代院長 伊藤 康博 精神医療センター 6代院長 角藤 芳久 がんセンター緩和ケアセンター設置
28.10.1	がんセンター 診療報酬点数表変更（専門病院入院基本料 7 対 1, 10 対 1 の病棟群による届出）
29. 5. 16	循環器・呼吸器病センター 病棟再編（40 床休止）
30. 4. 1	がんセンター10代総長 荒井 陽一 がんセンター13代院長 山田 秀和
30. 5. 19	がんセンター 病院機能評価（一般病院 2 3rdG:Ver.1.1）認定 がんセンター 病院機能評価副機能（緩和ケア病院 3rdG:Ver.1.1）認定
31. 1. 1	がんセンター 皮膚科開設
31. 1. 16	精神医療センター 精神科救急システム 3 6 5 日 2 4 時間化の運用開始
31. 2. 28	循環器・呼吸器病センター 結核病棟を除く入院, 外来の診療廃止
31. 3. 1	精神医療センター 電子カルテシステム更新
31. 3. 25	がんセンター 都道府県がん診療連携拠点病院指定
31. 3. 31	循環器・呼吸器病センター 病院事業を廃止
31. 4. 1	機構 3代理事長 荒井 陽一（がんセンター 10代総長を兼務） がんセンター 精神腫瘍科開設
2. 1. 24	がんセンター ISO 15189 取得

Ⅱ 財務諸表の要約

1 要約した財務諸表

①貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	9,309	固定負債	10,592
有形固定資産	8,814	長期借入金	5,507
無形固定資産	223	引当金	4,833
投資その他の資産	272	リース債務	141
流動資産	3,538	その他	112
現金及び預金	1,324	流動負債	3,150
有価証券	0	1年以内返済長期借入金	1,129
医業未収金	1,936	未払金	1,198
棚卸資産	119	1年以内支払リース債務	98
その他	158	その他	724
		負債合計	13,742
		純資産の部	金額
		資本金	160
		資本剰余金	0
		繰越欠損金	△ 1,055
		純資産合計	△ 895
資産合計	12,847	負債純資産合計	12,847

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

②損益計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益(A)	15,944
診療業務収益	12,022
運営費負担金収益	3,815
その他経常収益	107
経常費用(B)	15,624
診療業務費	14,577
一般管理費	205
その他経常費用	842
臨時損益(C)	134
当期純損益(A-B+C)	454

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

③キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	232
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 461
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 288
IV 資金増加額(又は減少額)	△ 516
V 資金期首残高	1,840
VI 資金期末残高	1,324

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

④行政サービス実施コスト計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
I 業務費用	3,622
損益計算書上の費用	15,636
(控除)自己収入等	△ 12,014
(その他行政サービス実施コスト)	
II 引当外退職給付増加見積額	8
III 機会費用	13
IV 行政サービス実施コスト	3,643

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

2 財務諸表の科目

①貸借対照表

固定資産

有形固定資産 : 土地, 建物, 医療機器など

無形固定資産 : ソフトウェア, 電話加入権など

投資その他の資産 : 満期保有目的債権など

流動資産

現金及び預金 : 現金, 預金

有価証券 : 譲渡性預金, 1年以内に満期が到来する満期保有目的債権など

医業未収金 : 医業収益に対する未収金

棚卸資産 : 医薬品, 診療材料など

固定負債

長期借入金 : 宮城県からの借入金

引当金 : 支給対象期間に基づき定期的に支給する役職員賞与に対する賞与引当金など

リース債務 : リース取引にかかる債務

流動負債

- 1年以内返済長期借入金 : 1年以内に返済期限が到来する長期借入金
- 未払金 : 医薬品, 診療材料, 医療機器購入などにかかる未払い債務
- 1年以内支払リース債務 : リース取引にかかる債務のうち, 1年以内に支払期限が到来する債務

純資産

- 資本金 : 宮城県からの出資金
- 資本剰余金 : 県から交付された施設費や補助金等を財源として取得した償却資産及びその他の資産損益外減価償却相当額の累計額又は損益外減損損失相当額の累計額
- 利益剰余金 : 業務に関連して発生した剰余金の累計額
- 繰越欠損金 : 業務に関連して発生した欠損金の累計額

②損益計算書

経常収益

- 診療業務収益 : 医業(入院・外来診療等)にかかる収益
- 運営費負担金収益 : 宮城県からの運営費負担金による収益

経常費用

- 診療業務費 : 医業(入院・外来診療等)に要する給与費, 材料費, 委託費, 減価償却費など
- 一般管理費 : 本部組織に係る給与費, 委託費など
- 臨時損益 : 固定資産の売却益など
- 臨時損失 : 固定資産の除却損など

③キャッシュ・フロー計算書

業務活動によるキャッシュ・フロー

通常の業務の実施に係る資金の状態を表す

投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の売却による収入および取得による支出, 定期預金の戻入による収入及び預入による支出, 固定資産の取得による支出など

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の借入による収入及び返済による支出, リース債務償還による支出など

④行政サービス実施コスト計算書

業務費用

損益計算書に計上される費用から、県等の財源によらない自己収入を控除したもの

引当外退職給付増加見積額

宮城県からの派遣職員に係る退職給付債務の増加見積額

機会費用

宮城県から無利子で調達している短期借入金に関して、市中金融機関から調達した場合に、通常負担すべき額として試算した金額

3 財務情報

(1) 財務諸表の概要

- ① 経常収益，経常費用，当期総損益，資産，負債，キャッシュ・フローなどの主要な財務データの経年比較・分析

(経常収益)

令和元年度の経常収益は 15,944 百万円と、前年度と比較して 789 百万円減（4.9%減）となっています。これは、循環器・呼吸器病センターの閉院等により、前年度と比較して運営費負担金収益が 934 百万円減（24.5%）となったことが主な要因です。

(経常費用)

令和元年度の経常費用は 15,624 百万円と、前年度と比較して 598 百万円減（3.8%減）となっています。これは、循環器・呼吸器病センターの閉院等により、前年度と比較して給与費が 620 百万円減（8.8%減）となったことが主な要因です。

(当期純損益)

令和元年度の当期純損益は 454 百万円となり、前年度と比較して 1,209 百万円増（前年度は△755 百万円）となっています。

これは、前年度に循環器・呼吸器病センターの閉院に伴い固定資産除却損 458 百万円、不要財産納付納付に伴う減損差損 1,408 百万円を計上したことが主な要因です。”

(資産)

令和元年度末現在の資産合計は 12,847 百万円と、前年度と比較して 351 百万円減（2.7%減）となっています。これは、前年度に精神医療センター

の電子カルテシステム導入に伴う借入金や循環器・呼吸器病センターの閉院に伴う退職者の退職金見合いの負担金が期末に残っていたことなどにより、前年度と比較して現預金が 517 百万円減（39.0%減）となったことが主な要因です。

（負債）

令和元年度末現在の負債合計は 13,742 百万円と、前年度と比較して 805 百万円減（5.9%減）となっています。これは、前年度と比較して移行前地方債償還債務等の固定負債が 612 百万円減（34.7%減）、未払金が 281 百万円減（209.7%減）となったことが主な要因です。

（業務活動によるキャッシュ・フロー）

令和元年度の業務活動によるキャッシュ・フローは 232 百万円の収入となり、前年度と比較して 868 百万円の収入減（374.1%減）となっています。これは、前年度と比較して運営費負担金収入が 694 百万円減（22.3%減）となったことが主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

令和元年度の投資活動によるキャッシュ・フローは 461 百万円の支出となり、前年度と比較して 737 百万円の支出増（159.9%増）となっています。これは、前年度と比較して有形固定資産の取得による支出額が 739 百万円増（52.8%増）となったことが主な要因です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

令和元年度の財務活動によるキャッシュ・フローは 288 百万円の支出となり、前年度と比較して 425 百万円の支出減となっています。これは、前年度と比較して長期借入れによる収入が 260 百万円増（25.3%増）となったことが主な要因です。

主要な財務データの経年比較

（単位：百万円）

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	15,618	15,934	15,702	16,733	15,944
経常費用	15,960	16,236	15,159	16,222	15,624
当期純利益〔又は(△)損失〕	△ 332	△ 301	△ 477	△ 755	454
資産	16,229	16,576	14,995	13,198	12,847
負債	16,031	16,679	15,575	14,547	13,742
利益剰余金〔又は(△)繰越欠損金〕	23	△ 277	△ 754	△ 1,509	△ 1,055
業務活動によるキャッシュ・フロー	251	511	217	1,100	232
投資活動によるキャッシュ・フロー	266	850	△ 326	276	△ 461
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 900	△ 143	△ 799	△ 713	△ 288
資金期末残高	866	2,084	1,177	1,840	1,324

（注）計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

（注）令和元年度より循環器・呼吸器病センターが閉院のため実績に含まれておりません。

(2) 重要な施設等の整備等の状況

- ① 当事業年度中に建替整備が完了した主要施設等
特になし
- ② 当事業年度において建替整備中の主要施設等
特になし
- ③ 当事業年度に処分した主要施設等
特になし

(3) 予算及び決算の概要

(単位：百万円)

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入						
診療業務収入	11,247	11,190	11,404	11,400	13,126	11,809
運営費負担金収入	4,222	4,253	4,101	4,097	4,017	4,000
その他収益的収入	167	185	178	171	182	164
長期借入金収入	1,100	852	893	452	2,152	1,148
その他資本的収入	0	13	0	9	0	0
計	16,736	16,493	16,576	16,128	19,477	17,121
支出						
診療業務費用	15,038	14,841	15,088	15,220	16,412	15,493
一般管理費	234	201	222	200	210	175
その他収益的支出	603	557	609	579	689	606
建設改良費	1,282	1,013	1,137	638	2,426	1,255
借入金償還金	1,372	1,372	1,237	1,237	1,173	1,173
その他資本的支出	0	100	0	0	0	0
計	18,528	18,084	18,291	17,874	20,910	18,702

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入						
診療業務収入	12,077	11,481	11,235	11,886	11,587	12,059
運営費負担金収入	4,100	4,101	4,724	4,749	3,655	3,815
その他収益的収入	149	159	143	739	250	259
長期借入金収入	1,369	518	1,560	770	1,648	1,030
その他資本的収入	0	0	0	3	0	0
計	17,695	16,258	17,662	18,147	17,140	17,162
支出						
診療業務費用	15,493	15,455	15,251	15,477	14,342	14,764
一般管理費	198	170	204	185	188	208
その他収益的支出	610	593	618	2,466	667	707
施設整備費	1,519	650	1,698	948	1,801	1,202
借入金償還金	1,201	1,201	1,367	1,367	1,182	1,222
その他資本的支出	0	0	0	0	0	0
計	19,021	18,068	19,138	20,444	18,181	18,102

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しない場合があります。

(注) 令和元年度より循環器・呼吸器病センターが閉院のため実績には含まれておりません。

(4) 経費削減効果及び効率化に関する目標及びその達成状況

① 経費削減及び効率化目標

中期計画及び年度計画において、材料費比率や後発医薬品使用品目数等の具体的な数値目標を設定し、医療機器等における多様な調達方法の検討、医薬品、診療材料、医療消耗備品における、品目毎の使用

状況，調達状況等の管理，後発医薬品への切替の検討等に努め，経費の削減に努めております。

② 経費削減及び効率化目標の達成度合いを測る財務諸表等の科目（費用等）の経年比較

（単位：百万円）

区分	第2期中期目標期間								第3期中期目標期間	
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
医業費用	15,220	102.5%	15,493	104.4%	15,455	104.1%	15,477	104.3%	14,764	97.0%
うち経費	2,635	98.1%	2,521	93.9%	2,617	97.4%	2,631	98.0%	2,318	88.0%
うち減価償却費	1,483	103.1%	1,335	92.8%	1,372	95.4%	1,290	89.7%	1,098	74.0%
一般管理費	200	99.7%	175	86.9%	170	84.4%	185	92.3%	208	103.5%
うち経費	15	89.1%	16	94.6%	13	80.3%	32	193.7%	25	167.2%
うち減価償却費	8	100.9%	7	91.3%	8	99.8%	2	22.9%	29	374.4%

（注）計数はそれぞれ四捨五入によっているので，端数において合計とは一致しないものがあります。

（注）令和元年度より循環器・呼吸器病センターが閉院のため実績には含まれておりません。

（５）事業の説明

収益構造

① 財源内訳

当機構の経常収益は，15,944百万円で，その内訳は，運営費負担金収益2,982百万円（収益の18.7%），資産見返運営費負担金収益833百万円（収益の5.2%），診療報酬等の自己収入12,022百万円（収益の75.4%）となります。

② 財源情報及び業務実績の説明

診療事業は，「医療の質」と「経営の質」を意識した病院運営を行うとともに，県立病院機構職員一人ひとりが高度・専門医療を担う役割を自覚し，安全かつ確実な医療の提供に努めてまいりました。

事業の財源は，事務費及び事業費については，医業収益12,022百万円，運営費負担金収益2,982百万円，資産見返運営費負担金収益833百万円となっています。

事業に対する主な費用は，給与費7,204百万円，材料費4,143百万円，委託費などの経費2,169百万円，減価償却費1,127百万円となっています。

Ⅲ 事業報告

1 事業を取り巻く環境

平成30年度に循環器・呼吸器病センターが閉院いたしました。精神医療センター、がんセンターの宮城県立2病院は、県の医療政策として求められる高度・専門医療を提供するとともに、医療に関する調査及び研究を行い、県内における医療水準の向上を図り、県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的としております。

医療ニーズの多様化や国の医療制度の変化への対応など、県立病院を取り巻く環境が厳しさを増していることから、医療環境の変化や経営状況に応じた柔軟で弾力的な病院運営を行い、より一層の自律性、機動性が発揮できるよう、平成23年4月に地方独立行政法人に移行し、職員が一丸となって業務の遂行に当たっております。

病院の概要

(令和2年3月31日現在)

病院名	所在地	病床数	診療科	開院年月日	備考
精神医療センター	名取市	258床	精神科、児童精神科、歯科	S32. 4. 12	H15. 4. 1 名取病院から改称
がんセンター	名取市	383床	血液内科、腫瘍内科、呼吸器内科、消化器内科、頭頸部内科、緩和ケア内科、循環器内科、精神腫瘍科、糖尿病・代謝内科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、婦人科、頭頸部外科、皮膚科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、歯科	S42. 4. 1	H5. 4. 1 成人病センターから改称

法人化後においても引き続き医療の質を高め、民間の医療機関では対応が難しい政策医療や高度・専門医療を提供するとともに、経営の安定に努め、県立病院としての役割を果たしながら、効率的な運営を図っていく必要があります。

2 令和元年度の主な取組（重点事項の実施状況）

法人化9年目となる令和元年度においても、変化する医療環境や厳しさを増す経営環境に的確に対応し、「医療の質」の向上に取り組むことにより、患者とその家族が納得し、安心・信頼して診療を受けられる病院であり続けることを目指しました。

（1）質の高い医療の提供

イ 精神医療センター

① 精神科救急・急性期医療の提供

施設設備の老朽化が著しい中、県内唯一の「精神科救急入院料病棟」の効率的・効果的な運用を図るため、毎朝の総合診療会議や毎週月曜日に実施される院長チームラウンドにおいて隔離室・個室確保のためのベッド調整を行うことにより、民間病院では対応困難な多様な患者の受け入れに努めました。

また、平成31年1月から365日24時間体制に移行した「県の精神科救急システム」については、当センターが中心的役割を果たしており、円滑な入院患者の受入れに向けて急性期病棟の効率的な運用に努めているとともに、4月から新たに2名の精神保健福祉士を採用し、同システムの精神科救急情報センターの体制強化を図りました。

② 自立生活に向けた支援事業の実施

長期入院患者に対して退院前から在宅医療のケア体制について説明を行うとともに、退院後については在宅生活を支えるため、「訪問看護ステーションゆとり」を中心とした多職種によるチーム支援に加え、地域ケア会議などを通じ、市町村をはじめとする関係行政機関や地域の障がい福祉サービス事業所等と連携を図り、丁寧なフォローを行いました。

また、デイケアで認知機能の改善を目的とした認知リハビリテーションを実施するなど新しい取り組みを推進しました。

③ 児童・思春期医療の提供

早期介入・支援等を行いモデル的医療の継続的な提供に努めたことや外来の新患受付枠を増枠したことなどにより、入院及び外来ともに患者数が増加しました。

また、学校訪問やケア会議の実施などを通して、教育機関との情報共有や連携促進を図り、入院している児童への学習機会の確保に努めました。

④ 慢性重症者に向けた医療体制の整備

院内の職員に加え、関係行政機関や地域の相談支援事業所のスタッフが参加し開催するチーム医療委員会において、慢性重症事例や支援プロ

グラムの検討等を行いました。

また、行動制限最小化に向けて、毎週月曜日の院長チームラウンドや行動制限最小化・特例措置事後審査委員会で、行動制限されている患者に対する治療方針の検討を行ったほか、クロザピンを服用している患者の安全性の確保を図るため、クロザリル運用委員会を開催し、高度で専門的な医療の提供に努めました。

ロ がんセンター

がんの種類や患者の状態に応じた最適な医療を提供するため、手術、放射線療法、化学療法を組み合わせた集学的治療の一層の促進を図りました。

特に、放射線療法、化学療法については、前年と比べ、多くの患者を受け入れ、実施強化に努めました。

また、都道府県がん診療連携拠点病院として、国が推進しているがんゲノム医療について、平成30年には、がんゲノム医療連携病院に選定されました。さらに質の高い医療を求められることから、ISO15189の取得に向けての取り組みを行い、令和2年1月に認定を受けております。さらに、先進的な医療機器の整備などについて検討を行うなど、必要な体制整備を図りました。

(2) 安全・安心な医療の提供

イ 精神医療センター

① 医療安全対策の推進

医療従事者を対象とした研修会を開催し、資質向上に努めるとともに、ヒヤリハット事例等を基に医療安全カンファランスで情報共有化を図り、課題を抽出し、事故防止に努めたほか、医療安全部門会議でインシデント等の報告事案を確認・分析し、その内容を医療安全管理委員会に報告し、病院全体の情報の共有に努めました。

② 院内感染症対策の推進

感染対策委員会を月1回定例で開催したほか、県内での新型コロナウイルスの流行に伴い、臨時の委員会を開催し対応を検討しました。

さらには、「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を新たに作成し、感染防止に加え、院内で感染者が発生した場合の対応について、職員の認識の共有化を図りました。

ロ がんセンター

毎週開催される医療安全管理室会議において、各部署から提出されるインシデント事例について、必要に応じて現場ラウンドによる現状確認など

も行ったうえで、要因分析と対策案の検討を行いました。この結果は、月に１度開催される医療安全管理委員会に報告するとともに、これらの情報・分析内容を基に、医療安全マニュアルを改訂し、全職員に周知徹底しました。

そのほか、医療安全管理室主催の研修会を定期的の実施して、職員の医療安全に関する資質の向上を図り、安心・安全な医療の提供に努めました。

（３）患者や家族の視点に立った医療の提供

イ 精神医療センター

入院時には、患者や家族に対して治療目的や方法等の説明を丁寧に行い、行動制限を伴う場合は、精神保健福祉法に則した適切な対応に努めるとともに、入院患者等からの意見・要望については委員会に諮り、適切に対応しました。

ロ がんセンター

がんセンターの理念である「患者さんの視点に立つ」に基づき、インフォームドコンセントの徹底を図ってきており、平成２３年度からは「がん患者カウンセリング」を導入し、医師及び認定看護師による有償カウンセリングを行いました。

また、ご意見・ご提案部会を定期開催し、病院利用者からの意見・要望に随時対応しながら、院内環境の改善・整備に取り組むとともに、毎週幹部職員の管理巡回を行い、療養環境の向上を図りました。

（４）人材の確保と育成

イ 医師の確保と育成

精神医療センターでは、東北大学医学部との連携等により２名の医師を採用したほか、新しく精神科専門医制度における研修基幹施設として認定を受け、応募のあった医師１名を令和２年度に採用しております。

がんセンターでは、東北大学等と連携を図り、医療環境や業務量の変化に応じて医師の確保、配置を行うとともに、レジデントの積極的な受け入れを行いました。また、東北大学大学院との連携講座（医学系研究科がん医科学講座）においては１５人の学生を受け入れ、研究・教育の強化に取り組みました。

ロ 看護師の確保と育成

民間の就職支援サイトへの登録、県内の合同就職説明会への参加、ホームページ上に各病院の若手看護師の活躍ぶりを紹介するなど積極的に広報

活動を行いました。

また、県内の看護師養成機関を訪問し、採用情報の広報及び学生の動向等の情報収集を行ったほか、機構主催での説明会及びインターンシップを開催するなど、様々な看護師確保対策に取り組んで採用試験を実施し、看護師を確保しました。

なお、専門・認定看護師の資格取得のための支援や院内外における研修会、学会への参加を積極的に推進したほか、宮城大学と協約を締結し、人材育成研修を継続するなど、看護師の資質向上を図りました。

ハ 医療従事者の確保と育成

医療環境や業務量の変化等に応じた適正な体制を維持するため、理学療法士、医療ソーシャルワーカー、臨床検査技師、薬剤師、治験コーディネーターの採用試験を実施し、医療従事者の確保に努めました。

また、各種認定資格の取得や学会等の参加を奨励・支援し、職員の資質向上を図りました。

ニ 事務職員の確保と育成

循環器・呼吸器病センター閉院に伴う事務職員の配置換による増員を踏まえ、正職員の採用試験は実施しませんでした。任期付職員を1名採用し、育児休業期間中の職員の業務の継続性を確保しました。

事務職員の資質向上においては、各種研修会への参加を奨励・支援したほか、病院特有の事務や運営について精通した人材を育成するための研修プログラムとして、診療情報管理士の通信教育の受講支援を行い、新たに2名が資格を取得しました。

なお、病院運営や診療行為を支える事務職員の更なる資質向上（人財育成）を図るため、職員自らが研修内容を企画・立案し、自主企画研修を実施しました（令和元年度は3回実施）。

ホ その他

新任職員研修等を実施したほか、宮城県公務研修所が行う県職員階層別研修や東北自治研修所が行う各種研修を受講しました。

（５）災害等への対応

各病院及び本部における防災訓練のほか、大規模災害等への対応に備えるため、職員安否確認システムの活用訓練や無線機の通信訓練を実施しました。また、非常時に対応するため、備蓄食料の適正な管理に努めました。

（６）その他の重要な取組

イ 精神医療センター

新病院建設候補地の選定が進められている中、ハード面での医療体制の整備が急務となっており、現有の施設・設備について、大規模修繕の実施計画の策定と、工事施工業者の選定に向けて取り組みました。

ロ がんセンター

良質な医療の提供や医療水準の維持向上、研究環境の整備を図るため、高性能手術支援ロボット、３Ｄ内視鏡手術システム、動物用イメージング器、次世代シーケンサーシステム等の医療機器・研究機器の計画的な導入・更新を行いました。

施設に関しては、平成２７年度に策定した宮城県立がんセンター中長期保全計画書に基づき、エアハンドリングユニット工事や駐車場増設工事等を行いました。

また、研究所においては、高度で専門的な医療の提供に向け、大学との連携を図りながら医療機能や医療水準の向上に向けた基礎及び臨床研究を実施しました。なお、新薬開発を目的とした国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の事業として新たに一件が選ばれ、継続中のものと加えて２件となり、それぞれ小細胞肺癌や白血病の革新的な治療法に繋がるものとして評価されています。

ハ 本部

就労環境の整備において、働き方改革の取組の一環として、職員の勤務時間の把握や事務省力化を図るため、「勤務管理システム」及び「人事給与システム」の導入に向けて、各病院と意見交換を行いながら、システム構築の検討を進めました。

有期雇用職員の処遇改善において、同一労働同一賃金を踏まえ、昇給制度の導入や、期末手当相当分の賃金の支給、特別有給休暇の拡充など、有期雇用職員の処遇改善に向けた準備を行いました。

その他、経営の安定化に向けた取組として、理事会や理事長・院長等会議を開催し、経営分析の実施や中期計画、年度計画の進行管理を行い、目標達成に向けた議論を行うとともに、病院ごとの背景にある要因を分析し、改善に向けた意見交換を行うための、個別の意見交換会を実施しました。

さらに、令和元年６月には、病院が保有している患者データの分析・有効活用を行い、収益確保に結び付けるため、がんセンターに経営戦略室を設置しました。

3 令和元年度の経営状況

イ 精神医療センター

入院収益は1,460,543千円となり、当初予算と比較し147,754千円の減となりました。これは、入院患者数が減少したことや精神科救急入院料適用患者割合が低下したことなどによるものです。

県の「精神科救急システム」365日24時間化以降、民間病院では対応困難な患者が入院するケースが増加し、4床室や後方支援病棟への転棟が困難な状況が続いたことのほか、地域移行による在院日数の減少や医師の減員等も影響したものと思量されます。

外来収益は296,501千円となり、当初予算と比較し16,995千円の減となりました。医師の減員に加え、患者の居住地周辺に通所できる社会福祉施設が増えていることもあり、デイケアプログラムに参加する患者が少なく、一般外来患者数（デイケア利用患者を含む）が減少したことが要因となっております。

営業費用については、2,959,883千円となり、当初予算と比較し57,635千円の減となりました。これは、給与費で25,331千円減少したほか、経費等においても見込みを下回ったことによるものです。

この結果、政策医療に対する宮城県からの運営費負担金等の収益を含めた営業損益は△42,478千円となっており、これに営業外収益と営業外費用を加えた経常損益は△31,234千円と、当初予算と比較して△103,388千円となっています。

図表1【決算報告書(予算対比、税込)】精神医療センター (単位:千円)

科 目	R1予算(ア)	R1決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	3,077,629	2,917,405	△ 160,224	△ 5.2%
1 医療収益	2,059,551	1,898,998	△ 160,553	△ 7.8%
(1)入院収益	1,608,297	1,460,543	△ 147,754	△ 9.2%
(2)外来収益	313,496	296,501	△ 16,995	△ 5.4%
(3)その他医療収益	137,758	141,954	4,196	3.0%
2 運営費負担金収益	980,332	980,332	0	0.0%
3 資産見返運営費負担金戻入	29,971	30,299	328	1.1%
4 その他	7,775	7,776	1	0.0%
II 営業費用(B)	3,017,518	2,959,883	△ 57,635	△ 1.9%
1 医療費用	2,983,650	2,929,263	△ 54,387	△ 1.8%
(1)給与費	2,059,391	2,034,060	△ 25,331	△ 1.2%
(2)材料費	147,624	135,018	△ 12,606	△ 8.5%
(3)経費	593,068	577,483	△ 15,585	△ 2.6%
(4)減価償却費	170,327	172,161	1,834	1.1%
(5)研究研修費	13,240	10,542	△ 2,698	△ 20.4%
2 一般管理費	0	0	0	0.0%
3 その他	33,868	30,620	△ 3,248	△ 9.6%
営業損(△)益	60,111	△ 42,478	△ 102,589	△ 170.7%
III 営業外収益(D)	22,394	21,333	△ 1,061	△ 4.7%
1 運営費負担金収益	11,278	11,279	1	0.0%
2 その他	11,116	10,054	△ 1,062	△ 9.6%
IV 営業外費用(E)	10,351	10,088	△ 263	△ 2.5%
(1)財務費用(支払利息)	9,862	9,673	△ 189	△ 1.9%
(2)その他	489	415	△ 74	△ 15.1%
経常損(△)益	72,153	△ 31,234	△ 103,387	△ 143.3%
V 臨時利益(G)	0	0	0	0.0%
VI 臨時損失(H)	1	0	△ 1	△ 98.4%
当年度純損(△)益	72,153	△ 31,234	△ 103,387	△ 143.3%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%
当年度総損(△)益	72,153	△ 31,234	△ 103,387	△ 143.3%
積立金	0	0	0	0.0%
利益剰余金	72,153	△ 31,234	△ 103,387	△ 143.3%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	527,100	45,000	△ 482,100	△ 91.5%
(1)長期借入金	527,100	45,000	△ 482,100	△ 91.5%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	593,868	116,707	△ 477,161	△ 80.3%
(1)建設改良費	546,582	68,765	△ 477,817	△ 87.4%
(2)償還金	47,286	47,941	655	1.4%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 66,768	△ 71,707	△ 4,939	△ 7.4%

(注)表中の数字について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

【図表2】予算額に対する比較表(税込)

区 分		令和元年度(7)	当初予算(イ)	中期計画	平成30年度	当初予算対比 (7)-(イ)	当初予算対比
精神センター	入院	年間入院患者延数(人)	65,163	68,808	68,808	△ 3,645	94.7%
		金 額(千円)	1,460,543	1,608,297	1,608,360	△ 147,754	90.8%
		患者一人当たりの診療収入	22,414	23,374	23,375	△ 960	95.9%
		平均在院日数(日)	128.3	—	—	129.7	
		病床稼働率(%)	69.0%	72.9%	72.9%	72.8%	94.7%
	外来	年間外来患者延数(人)	36,613	38,174	38,174	△ 1,561	95.9%
		金 額(千円)	296,501	313,496	313,500	△ 16,995	94.6%
		患者一人当たりの診療収入	8,098	8,212	8,212	△ 114	98.6%
		平均通院日数(日)	48.0	—	—	54.3	
	計	延べ患者数(人)	101,776	106,982	106,982	△ 5,206	95.1%
		金 額(千円)	1,757,044	1,921,793	1,921,860	△ 164,749	91.4%

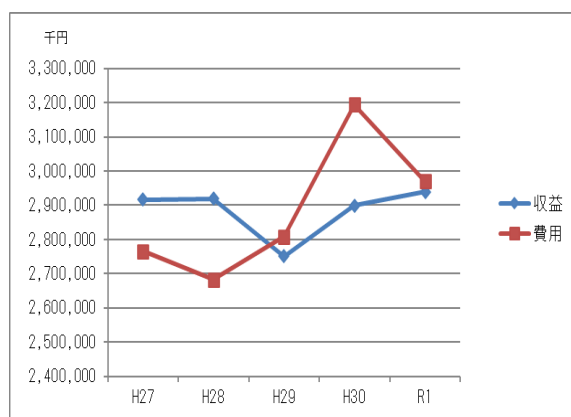
- ・入院診療日数 元年度366日 30年度 365日
- ・外来診療日数 元年度240日 30年度 244日
- ・病床稼働率 年間入院患者延数÷年延病床数(許可病床258床×歴日数)×100
- ・入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

図表 3 予算額に対する比較表(税込)

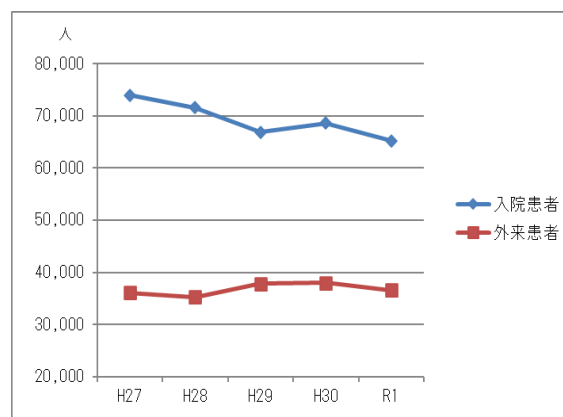
(単位:千円)

	R1決算 (A)	R1当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	R1補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H30決算 (D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 1,030,265	△ 924,099	△ 106,166	△ 11.5%	△ 1,043,935	13,670	1.3%	△ 846,204	△ 184,061	△ 21.8%
営業損益	△ 42,478	60,111	△ 102,589	△ 170.7%	△ 58,013	15,535	26.8%	41,453	△ 83,931	△ 202.5%
経常損益	△ 31,234	72,154	△ 103,388	△ 143.3%	△ 45,782	14,548	31.8%	54,982	△ 86,216	△ 156.8%
純損益	△ 31,234	72,153	△ 103,387	△ 143.3%	△ 45,783	14,549	31.8%	△ 294,717	263,483	89.4%
目的積立金 取崩額	0	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
総損益	△ 31,234	72,153	△ 103,387	△ 143.3%	△ 45,783	14,549	31.8%	△ 294,717	263,483	89.4%

図表 4 収益・費用の推移



図表 5 患者数の推移



ロ がんセンター

入院について、入院収益は、5,945,973 千円となり、当初予算と比較し 332,115 千円の大幅増となりました。これは、患者一人当たりの診療収入（患者単価）が増加したこと等によるものです。患者単価が増加した要因としましては、10 月より 7 対 1 専門病院入院基本料を算定した事が大きく影響しております。

外来について、外来収益は、3,926,052 千円となり、当初予算と比較して 310,211 千円の増となりました。これは、外来化学療法の増加等に伴い、診療単価が上がり、当初予算を上回ったものです。

入院患者数、外来患者数共に当初予算と比較して減少した理由として新型コロナウイルスが影響しております。

営業費用については、当初予算と比較すると 534,007 千円の増となりました。これは、化学療法の増加に伴い、高額薬剤の使用頻度が上がったことや検査機器入れ替えによる検査試薬の使用頻度が上がったことによる薬品費等の材料費が増加したことが主な要因となっております。

この結果、政策医療に対する宮城県からの運営費負担金等の収益を含めた営業利益は 526,856 千円、これに支払利息等の営業外費用を加えた当年度純利益は 497,838 千円となり、当初予算と比較すると 176,796 千円の改善が図られました。

図表1【決算報告書(予算対比,税込)】がんセンター

(単位:千円)

科 目	R1 予算(ア)	R1 決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	12,081,313	12,790,207	708,894	5.9%
1 医業収益	9,527,297	10,159,983	632,686	6.6%
(1)入院収益	5,613,858	5,945,973	332,115	5.9%
(2)外来収益	3,615,841	3,926,052	310,211	8.6%
(3)その他医業収益	297,598	287,958	△ 9640	△ 3.2%
2 運営費負担金収益	1,744,309	1,815,549	71,240	4.1%
3 資産見返運営費負担金戻入	776,397	778,149	1,752	0.2%
4 その他	33,310	36,526	3,216	0.1%
II 営業費用(B)	11,729,344	12,263,351	534,007	4.6%
1 医業費用	11,351,762	11,833,035	481,273	4.2%
(1)給与費	5,111,248	5,022,653	△ 88,595	△ 1.7%
(2)材料費	3,369,856	4,007,937	638,081	18.9%
うち薬品費	2,892,719	3,498,317	605,598	20.9%
うち診療材料費	465,589	501,782	36,193	7.8%
(3)経費	1,778,183	1,740,042	△ 38,141	△ 2.1%
(4)減価償却費	913,598	925,845	12,247	0.0%
(5)研究研修費	178,877	136,558	△ 42,319	△ 23.7%
2 一般管理費	0	0	0	0.0%
3 その他	377,582	430,316	52,734	14.0%
営業損(△)益	351,969	526,856	174,887	49.7%
III 営業外収益(D)	135,757	130,079	△ 5,678	△ 4.2%
1 運営費負担金収益	72,288	72,291	3	0.0%
2 その他	63,469	57,788	△ 5,681	△ 9.0%
IV 営業外費用(E)	166,683	159,098	△ 7,585	△ 4.6%
(1)財務費用(支払利息)	98,425	94,839	△ 3,586	△ 3.6%
(2)その他	68,258	64,259	△ 3,999	△ 5.9%
経常損(△)益	321,043	497,838	176,795	55.1%
V 臨時利益(G)	0	0	0	-
VI 臨時損失(H)	1	0	△ 1	-
当年度純損(△)益	321,042	497,838	176,796	55.1%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%
当年度総損(△)益	321,042	497,838	176,796	55.1%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	1,027,000	982,200	△ 44,800	△ 4.4%
(1)長期借入金	1,027,000	982,200	△ 44,800	△ 4.4%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	2,290,545	2,264,988	△ 25,557	△ 1.1%
(1)建設改良費	1,157,161	1,128,100	△ 29,061	△ 2.5%
(2)償還金	1,133,384	1,136,888	3,504	0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 1,263,545	△ 1,282,788	△ 19,243	1.5%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表2 診療実績調（税込）

令和2年3月31日現在

区 分		R1 決算(ア)	R1当初 予算(イ)	中期計画	H30決算	当初予算対比 (ア)-(イ)	当初予算対比
入 院	年間入院患者延数(人)	105,153	106,140	105,774	105,241	△ 987	99.1%
	金 額(千円)	5,945,973	5,613,858	5,666,319	5,715,546	332,115	105.9%
	患者一人当たりの診療収入	56,546円	52,891円	53,570円	54,309円	3,655円	106.9%
	平均在院日数(日)	17.0	—	—	16.8		
	病床稼働率	75.0%	75.7%	75.7%	75.3%		99.1%
外 来	年間外来患者延数(人)	86,645	87,840	88,084	87,613	△ 1,195	98.6%
	金 額(千円)	3,926,052	3,615,841	3,592,208	3,628,136	310,211	108.6%
	患者一人当たりの診療収入	45,312円	41,164円	40,782円	41,411円	4,148円	110.1%
	平均通院日数(日)	14.8	—	—	15.1		
計	延べ患者数(人)	191,798	193,980	193,858	192,854	△ 2,182	98.88%
	金 額(千円)	9,872,025	9,229,699	9,258,527	9,343,682	642,326	106.96%

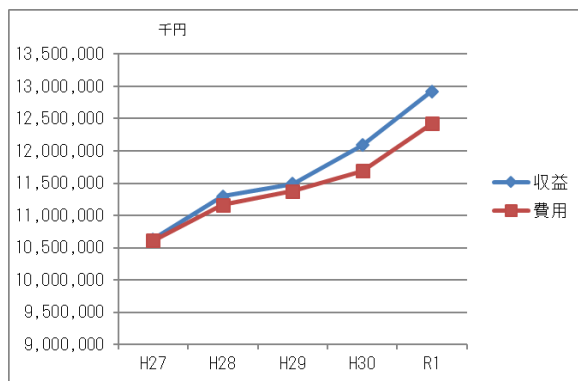
- ・入院診療日数 令和元年度 366日 平成30年度 365日
- ・外来診療日数 令和元年度 242日 平成30年度 244日
- ・病床稼働率 年間入院患者延数÷年間延病床数(許可病床383床×歴日数)×100
- ・入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

図表3 予算額に対する比較表（税込）

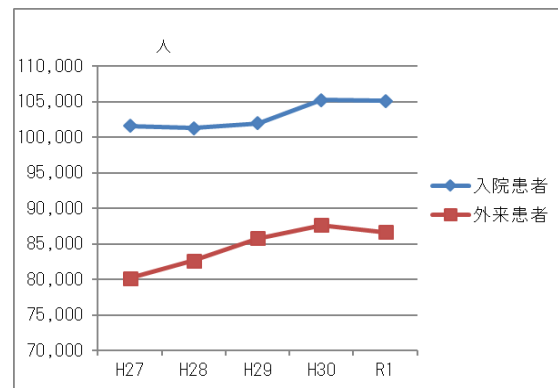
(単位：千円)

	R1 決算 (A)	R1当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	R1補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H30決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 1,673,052	△ 1,824,465	151,413	8.3%	△ 1,779,777	106,725	6.0%	△ 1,540,174	△ 132,878	-8.6%
営業損益	526,856	351,969	174,887	49.7%	416,889	109,967	26.4%	432,615	94,241	21.8%
経常損益	497,838	321,043	176,795	55.1%	381,071	116,767	30.6%	397,012	100,826	25.4%
純損益	497,838	321,042	176,796	55.1%	381,072	116,766	30.6%	395,802	102,036	25.8%
目的積立金 取崩額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総損益	497,838	321,042	176,796	55.1%	381,072	116,766	30.6%	395,802	102,036	25.8%

図表4 収益・費用の推移



図表5 患者数の推移



ハ 本部事務局

営業収益については、39,378千円となり、当初予算と比較すると25,426千円の増となりました。これは、循環器・呼吸器病センターより電子カルテサーバ等に移設し、起債を継承したことに伴い、資産見返運営費負担金戻入額が増加したこと等によるものです。

営業費用については、209,909千円となり、当初予算と比較すると13,449千円の増となりました。これは、循環器・呼吸器病センターより電子カルテサーバ等に移設したことに伴い減価償却費が発生したことによるものです。

この結果、営業損益は△170,531千円となりました。また、営業外収益にて当初予算時に見込んでいなかった、循環器・呼吸器病センターの閉院に係る諸経費見合い分の運営費負担金60,913千円が増加したことなどから、営業外収益等を加えた経常損益は△147,287千円、これに、臨時利益等加えた当年度純損益は△12,630千円となり、当初予算と比較すると、損失額で86,673千円の改善となりました。

図表1【決算報告書(予算対比、税込)】本部事務局 (単位:千円)

科 目	R1予算(ア)	R1決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	13,952	39,378	25,426	182.2%
1 医業収益	0	0	0	0.0%
(1)入院収益	0	0	0	0.0%
(2)外来収益	0	0	0	0.0%
(3)その他医業収益	0	0	0	0.0%
2 運営費負担金収益	12,810	14,978	2,168	16.9%
3 資産見返運営費負担金戻入	0	24,123	24,123	0.0%
4 その他	1,142	277	△ 865	△ 75.7%
II 営業費用(B)	196,460	209,909	13,449	6.8%
1 医業費用	6,939	1,805	△ 5,134	△ 74.0%
(1)給与費	0	0	0	0.0%
(2)材料費	0	0	0	0.0%
(3)経費	0	0	0	0.0%
(4)減価償却費	0	0	0	0.0%
(5)研究研修費	6,939	1,805	△ 5,134	△ 74.0%
2 一般管理費	188,432	207,503	19,071	10.1%
3 その他	1,089	600	△ 489	△ 44.9%
営業損(△)益	△ 182,508	△ 170,531	11,977	6.6%
III 営業外収益(D)	26,609	87,876	61,267	230.3%
1 運営費負担金収益	26,609	87,562	60,953	229.1%
2 その他	0	314	314	0.0%
IV 営業外費用(E)	76,278	64,632	△ 11,646	△ 15.3%
(1)財務費用(支払利息)	62	5	△ 57	△ 92.0%
(2)その他	76,216	64,627	△ 11,589	△ 15.2%
経常損(△)益	△ 232,177	△ 147,287	84,890	36.6%
V 臨時利益(G)	134,230	146,112	11,882	8.9%
VI 臨時損失(H)	1,356	11,455	10,099	744.8%
当年度純損(△)益	△ 99,303	△ 12,630	86,673	87.3%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%
当年度総損(△)益	△ 99,303	△ 12,630	86,673	87.3%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	94,300	2,300	△ 92,000	△ 97.6%
(1)長期借入金	94,300	2,300	△ 92,000	△ 97.6%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	99,079	42,025	△ 57,054	△ 57.6%
(1)建設改良費	97,604	618	△ 96,986	△ 99.4%
(2)償還金	1,475	0	△ 1,475	△ 100.0%
(3)その他	0	41,407	41,407	0.0%
差引(a)-(b)	△ 4,779	△ 39,725	△ 34,946	△ 731.2%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表2 予算額に対する比較表 (税込) (単位:千円)

	R1決算 (A)	R1当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	R1補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H30決算 (D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 1,805	△ 7,039	5,234	74.4%	△ 4,882	3,077	63.0%	△ 2,333	528	22.6%
営業損益	△ 170,531	△ 183,108	12,577	6.9%	△ 178,133	7,602	4.3%	△ 159,292	△ 11,239	-7.1%
経常損益	△ 147,287	△ 232,777	85,490	36.7%	△ 187,435	40,148	21.4%	△ 158,775	11,488	7.2%
純損益	△ 12,630	△ 99,903	87,273	87.4%	△ 53,352	40,722	76.3%	△ 158,671	146,041	92.0%
目的積立金 取崩額	0	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
総損益	△ 12,630	△ 99,903	87,273	87.4%	△ 53,352	40,722	76.3%	△ 158,671	146,041	92.0%

二 宮城県立病院機構全体

医業収益については、12,058,981千円となり、当初予算と比較し472,133千円の増となりました。これは、がんセンターにおいて当初予算と比較して入院・外来収益が大きく増加したことが主な要因です。

医業費用については、14,764,104千円となり、当初予算と比較し421,753千円の増となりました。これは、がんセンターにおいて、外来化学療法等が増加し、薬品等の材料費が増加したことが主な要因です。

営業外収益については、239,288千円となり、当初予算と比較し54,528千円の増となりました。また、営業外費用については、233,818千円となり、当初予算と比較し△19,494千円となりました。

この結果、経常利益は319,317千円となり、当初予算と比較し158,297千円の増となりました。さらに、臨時損失等を加えた当年度純損益は453,974千円となり、当初予算と比較すると160,082千円の増となりました。

なお、資本的収支は、精神医療センターの大規模修繕次年度繰り越し等により、資本収入が1,029,500千円となり、当初予算と比較し618,900千円の減、資本支出が2,423,719千円となり、当初予算と比較し559,773千円の減となりました。

図表1【決算報告書(予算対比,税込)】宮城県立病院機構全体 (単位:千円)

科 目	R1予算(ア)	R1決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	15,172,894	15,746,989	574,095	3.8%
1 医業収益	11,586,848	12,058,981	472,133	4.1%
(1)入院収益	7,222,155	7,406,516	184,361	2.6%
(2)外来収益	3,929,337	4,222,553	293,216	7.5%
(3)その他医業収益	435,356	429,913	△ 5,443	△ 1.3%
2 運営費負担金収益	2,737,451	2,810,858	73,407	2.7%
3 資産見返運営費負担金戻入	807,105	832,571	25,466	3.2%
4 その他	41,490	44,579	3,089	7.4%
II 営業費用(B)	14,943,322	15,433,143	489,821	3.3%
1 医業費用	14,342,351	14,764,104	421,753	2.9%
(1)給与費	7,170,639	7,056,712	△ 113,927	△ 1.6%
(2)材料費	3,517,480	4,142,955	625,475	17.8%
(3)経費	2,371,251	2,317,526	△ 53,725	△ 2.3%
(4)減価償却費	1,083,925	1,098,006	14,081	1.3%
(5)研究研修費	199,056	148,905	△ 50,151	△ 25.2%
2 一般管理費	188,432	207,503	19,071	10.1%
3 その他	412,539	461,536	48,997	11.9%
営業損(△)益	229,572	313,847	84,275	36.7%
III 営業外収益(D)	184,760	239,288	54,528	29.5%
1 運営費負担金収益	110,175	171,132	60,957	55.3%
2 その他	74,585	68,156	△ 6,429	△ 8.6%
IV 営業外費用(E)	253,312	233,818	△ 19,494	△ 7.7%
(1)財務費用(支払利息)	179,359	170,154	△ 9,205	△ 5.1%
(2)その他	73,953	63,664	△ 10,289	△ 13.9%
経常損(△)益	161,020	319,317	158,297	98.3%
V 臨時利益(G)	134,230	146,112	11,882	8.9%
VI 臨時損失(H)	1,358	11,455	10,097	743.5%
当年度純損(△)益	293,892	453,974	160,082	54.5%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%
当年度総損(△)益	293,892	453,974	160,082	54.5%
積立金	0	0	0	0.0%
利益剰余金	293,892	453,974	160,082	54.5%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	1,648,400	1,029,500	△ 618,900	△ 37.5%
(1)長期借入金	1,648,400	1,029,500	△ 618,900	△ 37.5%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	2,983,492	2,423,719	△ 559,773	△ 18.8%
(1)建設改良費	1,801,347	1,201,577	△ 599,770	△ 33.3%
(2)償還金	1,182,145	1,222,143	39,998	3.4%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 1,335,092	△ 1,394,219	△ 59,127	△ 4.4%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表 2 診療実績調（税込）

令和 2 年 3 月 3 1 日現在

区 分		R1 決算（ア）	R1 当初（イ）	中期計画	H30 決算	当初予算対比 （ア）－（イ）	当初予算対比
入院	年間入院患者延数（人）	170,316	174,948	174,582	173,782	△ 4,632	97.35%
	金 額（千円）	7,406,516	7,222,155	7,274,679	7,257,082	184,361	102.55%
	患者一人当たりの診療収入	43,487	41,282	41,669	41,760	2,205	105.34%
外来	年間外来患者延数（人）	123,258	126,014	126,258	125,592	△ 2,756	97.81%
	金 額（千円）	4,222,553	3,929,337	3,905,708	3,937,559	293,216	107.46%
	患者一人当たりの診療収入	34,258	31,182	30,934	31,352	3,076	109.87%
計	延べ患者数（人）	293,574	300,962	300,840	299,374	△ 7,388	97.55%
	金 額（千円）	11,629,069	11,151,492	11,180,387	11,194,641	477,577	104.28%

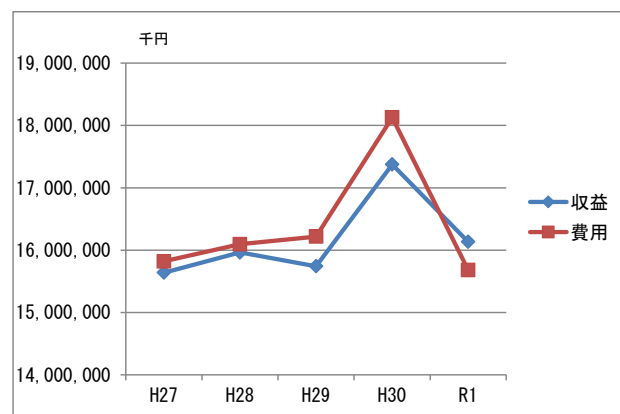
- ・ 入院診療日数 令和元年度 366 日 平成 30 年度 365 日
- ・ 外来診療日数 令和元年度 242 日 平成 30 年度 244 日
- ・ 入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・ 外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

図表 3 予算額に対する比較表（税込）

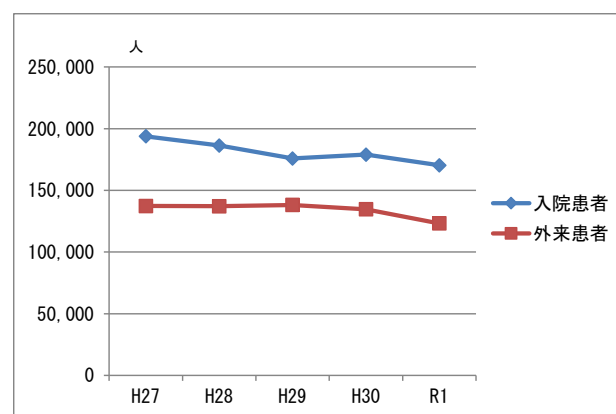
（単位：千円）

	R1 決算 (A)	R1 当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	R1 補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H30 決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 2,705,123	△ 2,755,503	50,380	1.8%	△ 2,828,594	123,471	4.4%	△ 3,591,013	885,890	24.7%
営業損益	313,847	229,572	84,275	36.7%	180,743	133,104	73.6%	533,467	△ 219,620	-41.2%
経常損益	319,317	161,020	158,297	98.3%	147,856	171,461	116.0%	511,339	△ 192,022	-37.6%
純損益	453,974	293,892	160,082	54.5%	281,937	172,037	61.0%	△ 754,570	1,208,544	160.2%
目的積立金 取崩額	0	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
総損益	453,974	293,892	160,082	54.5%	281,937	172,037	61.0%	△ 754,570	1,208,544	160.2%

図表 4 収益・費用の推移



図表 5 患者数の推移



※図表 3～図表 5 の R1 実績は循環器・呼吸器病センターを除く



Miyagi Psychiatric Center

宮城県立精神医療センター



Miyagi Cancer Center

宮城県立がんセンター

参 考 資 料

(病院別貸借対照表・損益計算書)

貸借対照表
(令和2年3月31日)

【精神医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
土地	712,910,000	
建物	1,580,794,000	
建物減価償却累計額	930,018,653	650,775,347
構築物	77,268,923	
構築物減価償却累計額	50,266,473	27,002,450
器械備品	346,475,595	
器械備品減価償却累計額	214,417,440	132,058,155
車輛	10,155,959	
車輛減価償却累計額	3,218,745	6,937,214
その他有形固定資産	450,000	
他有形固定資産減価償却累計額	0	450,000
有形固定資産合計	1,530,133,166	
2 無形固定資産		
ソフトウェア	187,656,014	
電話加入権	326,500	
無形固定資産合計	187,982,514	
3 投資その他の資産		
長期前払消費税	36,891,339	
投資その他資産	69,760	
投資その他の資産合計	36,961,099	
固定資産合計		1,755,076,779
II 流 動 資 産		
現金及び預金	346,773	
医業未収金	322,034,941	
貸倒引当金	△ 17,341,468	304,693,473
未収金	3,255,991	
貸倒引当金	△ 1,992,540	1,263,451
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	9,342,026	
診療材料	2,231,987	
その他貯蔵品	1,080,950	12,654,963
その他流動資産	17,346,107	
流動資産合計	336,304,767	
資産合計		2,091,381,546

貸借対照表
(令和2年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
Ⅰ 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	50,241,649	
資産見返物品受贈額	<u>450,001</u>	50,691,650
長期借入金		684,848,802
移行前地方債償還債務		385,892,828
引当金		
退職給付引当金		1,637,788,706
長期リース債務		8,027,058
その他固定負債(施設間仮勘定)	<u>△ 1,932,933,708</u>	
固定負債合計		834,315,336
Ⅱ 流動負債		
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		39,328,969
1年以内返済予定長期借入金		105,530,356
医業未払金		143,154,666
未払金		7,657,566
1年以内支払予定リース債務		7,328,556
未払消費税等		2,369,380
預り金		12,614,064
前受金		1,931,458
引当金		
賞与引当金	<u>114,351,647</u>	
流動負債合計		<u>434,266,662</u>
負債合計		1,268,581,998
純資産の部		
Ⅰ 資本金		
設立団体出資金	<u>232,341,583</u>	
資本金合計		232,341,583
Ⅱ 利益剰余金		
当期末処分利益(△当期末処理損失)	<u>590,457,965</u>	
(うち当期総利益)	(△ 31,233,917)	
利益剰余金合計		<u>590,457,965</u>
純資産合計		822,799,548
負債純資産合計		<u><u>2,091,381,546</u></u>

損益計算書
(令和2年3月31日)

【精神医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	1,460,494,749	
外来収益	296,458,191	
その他医業収益	129,245,960	1,886,198,900
運営費負担金収益		980,332,000
資産見返運営費負担金戻入		30,299,000
補助金等収益		0
資産見返補助金等戻入		7,775,505
営業収益合計		2,904,605,405
営業費用		
医業費用		
給与費	2,031,926,079	
材料費	135,018,046	
経費	537,032,588	
減価償却費	172,160,580	
研究研修費	9,755,909	2,885,893,202
取得資産に係る控除対象外消費税償却		7,425,761
控除対象外消費税(消費税損失)		52,968,839
営業費用合計		2,946,287,802
営業利益		△ 41,682,397
営業外収益		
運営費負担金収益	11,279,000	
財務収益	115,444	
その他営業外収益	9,131,327	
営業外収益合計		20,525,771
営業外費用		
財務費用	9,673,099	
貸倒引当金医業外繰入	17,240	
その他営業外費用	386,936	
営業外費用合計		10,077,275
経常利益		△ 31,233,901
臨時利益		
貸倒引当金戻入益	0	
臨時利益合計		0
臨時損失		
固定資産除却損	16	
臨時損失合計		16
当期純利益(△損失)		△ 31,233,917
当期総利益(△損失)		△ 31,233,917

貸借対照表
(令和2年3月31日)

【がんセンター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
土地	590,680,000	
建物	7,986,658,220	
建物減価償却累計額	2,847,115,068	5,139,543,152
構築物	124,841,804	
構築物減価償却累計額	49,802,903	75,038,901
器械備品	5,485,369,272	
器械備品減価償却累計額	4,054,657,115	1,430,712,157
車輛	228,375	
車輛減価償却累計額	228,372	3
有形固定資産合計	7,235,974,213	
2 無形固定資産		
ソフトウェア	32,168,133	
電話加入権	251,500	
無形固定資産合計	32,419,633	
3 投資その他の資産		
長期前払消費税	234,035,126	
投資その他資産	30,410	
投資その他の資産合計	234,065,536	
固定資産合計	7,502,459,382	
II 流 動 資 産		
現金及び預金	2,687,514	
医業未収金	1,633,893,153	
貸倒引当金	△ 2,274,662	1,631,618,491
未収金	27,830,852	
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	59,228,030	
診療材料	45,572,975	
その他貯蔵品	1,848,039	106,649,044
前払金	501,548	
その他流動資産	111,323,844	
流動資産合計	1,880,611,293	
資産合計	9,383,070,675	

貸借対照表
(令和2年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	33,682,340	
資産見返寄附金	21,512,004	
資産見返物品受贈額	<u>3,672,448</u>	58,866,792
長期借入金		3,025,398,726
移行前地方債償還債務		1,380,812,816
引当金		
退職給付引当金		3,159,859,664
長期リース債務		131,597,070
その他固定負債(施設間仮勘定)	<u>△ 2,897,505,879</u>	
固定負債合計		4,859,029,189
II 流動負債		
寄附金債務		10,830,472
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		571,969,853
1年以内返済予定長期借入金		375,737,983
医業未払金		800,829,247
未払金		30,582,635
1年以内支払予定リース債務		90,058,524
未払消費税等		4,959,012
預り金		81,999,267
前受金		207,078,230
引当金		
賞与引当金	<u>273,527,260</u>	
流動負債合計		<u>2,447,572,483</u>
負債合計		7,306,601,672
純資産の部		
I 資本金		
設立団体出資金	<u>△ 1,016,499,159</u>	
資本金合計		△ 1,016,499,159
II 利益剰余金		
当期末処分利益(△当期末処理損失)	<u>3,092,968,162</u>	
(うち当期総利益)	(497,837,546)	
利益剰余金合計		<u>3,092,968,162</u>
純資産合計		<u>2,076,469,003</u>
負債純資産合計		<u><u>9,383,070,675</u></u>

損 益 計 算 書
(令和2年3月31日)

【がんセンター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営 業 収 益		
医業収益		
入院収益	5,945,729,827	
外来収益	3,925,203,190	
その他医業収益	265,055,326	10,135,988,343
運営費負担金収益		1,815,548,637
資産見返運営費負担金戻入		778,149,000
補助金等収益		17,705,994
資産見返補助金等戻入		9,072,528
資産見返寄附金戻入		5,060,586
資産見返物品受贈額戻入		4,567,073
その他営業収益		115,455
営業収益合計		12,766,207,616
営 業 費 用		
医業費用		
給与費	5,017,923,194	
材料費	4,007,937,100	
経費	1,609,358,786	
減価償却費	925,844,971	
研究研修費	128,507,424	11,689,571,475
取得資産に係る控除対象外消費税償却		47,420,218
控除対象外消費税(消費税損失)		502,755,433
営業費用合計		12,239,747,126
営業利益		526,460,490
営 業 外 収 益		
運営費負担金収益		72,291,000
寄附金収益		544,820
財務収益		173,248
その他営業外収益		52,590,096
営業外収益合計		125,599,164
営 業 外 費 用		
財務費用		94,838,572
その他営業外費用		59,383,431
営業外費用合計		154,222,003
経常利益		497,837,651
臨 時 利 益		
貸倒引当金戻入益		0
臨時利益合計		0
臨 時 損 失		
固定資産除却損		105
その他臨時損失		0
臨時損失合計		105
当期純利益(△損失)		497,837,546
当期総利益(△損失)		497,837,546

貸借対照表
(令和2年3月31日)

【本部】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
器械備品	181,064,244	
器械備品減価償却累計額	134,913,048	46,151,196
車輛	1,588,380	
車輛減価償却累計額	1,525,242	63,138
その他有形固定資産	2,000,000	
他有形固定資産減価償却累計額	0	2,000,000
有形固定資産合計		48,214,334
2 無形固定資産		
無形固定資産合計		2,909,426
3 投資その他の資産		
長期前払消費税		609,497
投資その他資産		<u>11,760</u>
投資その他の資産合計		<u>621,257</u>
固定資産合計		51,745,017
II 流 動 資 産		
現金及び預金		1,320,751,431
医業未収金	1,320,781	
貸倒引当金	<u>△ 1,290,226</u>	30,555
未収金	192,266	
貸倒引当金	<u>△ 190,410</u>	1,856
流動資産合計		<u>1,320,783,842</u>
資産合計		<u><u>1,372,528,859</u></u>

貸借対照表
(令和2年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 固定負債		
資産見返負債		
資産見返物品受贈額	2,000,002	2,000,002
長期借入金		30,187,200
引当金		
退職給付引当金		34,953,513
長期リース債務		1,000,824
その他固定負債(施設間仮勘定)	4,830,439,587	
固定負債合計		4,898,581,126
II 流動負債		
寄附金債務		890,728
1年以内返済予定長期借入金		36,543,950
医業未払金		119,632,694
未払金		96,473,771
1年以内支払予定リース債務		776,928
未払消費税等		87,508
預り金		6,544,472
賞与引当金	6,872,641	
流動負債合計		267,822,692
負債合計		5,166,403,818
純資産の部		
I 資本金		
設立団体出資金	944,393,466	
資本金合計		944,393,466
II 繰越欠損金		
当期末処分利益(△当期末処理損失)	△ 4,738,268,425	
(うち当期総損失)	(△ 12,630,059)	
繰越欠損金合計		△ 4,738,268,425
純資産合計		△ 3,793,874,959
負債純資産合計		1,372,528,859

損益計算書
(令和2年3月31日)

【本部】 (単位:円)

科 目	金 額	
営 業 収 益		
医業収益		
運営費負担金収益	14,977,536	
資産見返運営費負担金戻入	24,123,000	
寄附金収益	277,020	
営業収益合計		39,377,556
営 業 費 用		
医業費用		
研究研修費	1,655,678	1,655,678
一般管理費		
給与費	153,592,435	
経費	22,597,108	
減価償却費	29,058,375	205,247,918
取得資産に係る控除対象外消費税償却		163,540
控除対象外消費税(消費税損失)	5,548,162	
営業費用合計		212,615,298
営業利益		△ 173,237,742
営 業 外 収 益		
運営費負担金収益	87,562,000	
その他営業外収益	311,278	
営業外収益合計		87,873,278
営 業 外 費 用		
財務費用	73,805	
その他営業外費用	61,348,936	
営業外費用合計		61,422,741
経常利益		△ 146,787,205
臨 時 利 益		
過年度損益修正益	9,687,950	
貸倒引当金戻入益	294,300	
その他臨時利益	135,630,009	
臨時利益合計		145,612,259
臨 時 損 失		
固定資産除却損	2,655,256	
その他臨時損失	8,799,857	
臨時損失合計		11,455,113
当期純利益(△損失)		△ 12,630,059
当期総利益(△損失)		△ 12,630,059